

徳島県美術家協会

美術年報

2024



目 次

はじめに	徳島県美術家協会会長 松永 勉	1	
令和5年事業報告		3	
令和5年度役員名簿		6	
令和5年度各部役員名簿		7	
第29回放美展記録		12	
第29回放美展出品・入選等状況		17	
第29回放美展公募規定		18	
第77回徳島県美術展記録		19	
第77回徳島県美術展出品・入選等状況		28	
第77回徳島県美術展公募規定		29	
徳島県美術展審査員一覧		30	
徳島県美術展開催運営要項		34	
第19回徳島県こども美術展		38	
第19回徳島県こども美術展出品・入選等状況		39	
第77回徳島県展選抜展		40	
令和5年各部記録			
・日本画部	部会長 岡 英彦	42	
・洋画部	部会長 平木 美鶴	45	
・写真部	部会長 上野 照文	52	
・彫刻部	部会長 居上 真人	56	
・美術工芸部	部会長 松下 慶一	61	
・書道部	部会長 亀石 文苑	65	
・デザイン部	部会長 坂野美恵子	74	
徳島県美術家協会規約		78	
後援承認事務取扱規定		79	
後援名義使用承認申請書様式		80	
令和5年度会員名簿			
・日本画部	82	・美術工芸部	89
・洋画部	83	・書道部	91
・写真部	86	・デザイン部	100
・彫刻部	89		
あとがき			

はじめに

徳島県美術家協会

会長 松 永 勉

昨年来、世界では生成 AI の技術革新にめざましい進展が感じられます。それは、アートの分野においても拡大されているようです。昨年3月までニューヨークの近代美術館(MOMA)で開催されたトルコ出身の AI アーティスト、レフイーク・アナドルの作品展は、同館のコレクション 13 万余点を学習した AI を使用し最新展示作品を発表しました。AI はアートに新たな解釈を与えているようでした。また、ドイツのアーティスト、ボリス・エルダクセンが昨年のソニーワールドフォトグラフィーアワードのクリエイティブ部門で最優秀賞に選ばれた後、AI 生成画像であることを明かにして、受賞を辞退したことも大きな話題になっていました。このようなことから、AI の賢さ、発想の豊かさに驚くことも多い一方で、参考資料の著作権や許可の有無、今後の権利関係などが問題であり、それらの権利関係などが解決できれば、アートの新たな分野が生まれる可能性も広がると考えられます。

そのような画像生成 AI が話題になる中で、第 77 回徳島県美術展のポスターデザインコンクールでは応募作品 48 点から、画像生成 AI を活用して制作された堀部泰明さんの作品が選ばれました。作品は刺激的で、大胆な女性の顔をアップにした強烈なインパクトのデザインでした。このことは、まさに、アート表現の多様性であって、そこから新しい作品が生まれる可能性を感じました。

5 月に開催された「第 29 回放美展」は、今回も新型コロナ対策を講じながらの展示になりました。出品数は前回並で、高校生が洋画、日本画、彫刻、デザインの 4 部門で放美賞に選ばれるなど若手作家の活躍が印象に残りました。

秋の「第 77 回徳島県美術展」では新型コロナに対しての制限が緩和され、4 年ぶりにほぼ通常の県展として開催できたのが大きな喜びでありました。今回も従来の 7 部門とクリエイター部門から、3 期開催となりました。各部門の特別賞にはそれぞれ実績を重ねた実力派から若手まで幅広い年代の作家が選ばれ、県内の総合美術展として見応えのある展示内容になりました。また、前回に引き続き企画したギャラリー賞は、一般鑑賞者の作品に対する注目度が高まり十分な効果があったと思います。

続いて、吉野川市での 5 回目となる「第 77 回徳島県展選抜展」では、広く県民に県展を鑑賞していただく機会が増え、地域文化の向上に一役を担っています。期間中、お世話いただきました吉野川市の関係者には心から感謝申し上げます。

県展と同時期に開催の「第 19 回徳島県こども美術展」では、今回も 1 万 5 千点を超す多数の応募がありました。その中で、絵画部門の県知事賞には、川内北小学校 4 年生の豊川 勇人さんのピアノ演奏会を、独特の構図の中に細部まで気を使って描いた作品は見事でした。書写部門の県知事賞の大麻中学校 2 年生、岩田あかりさんの書は、引き込められるような美しい線が高い評価を受けました。こども県展は県内小中学生の一つの目標になっており、展示の様子は WEB で VR 展示もされました。

その他、昨年に県内で開催された美術展のうちいくつかを記しておきます。本協会関係では、6 月に日本画部会が主催する「第 60 回新作日本画展」が 4 年ぶりに開かれました。充実した内容で 55 点の展示がありました。7 月には、写真部会が初の試みとして招待作家及び会員の作品 80 点を並べて日頃の成果を発表する「写真部会展」を開催しました。同じく 7 月には洋画部会が「第 36 回洋画部会員展」を開き、67 名がそれぞれの力作を展示し日頃の研鑽の成果を発表していました。

個展としては、県展、日展で活躍して、2011 年に他界された書家、勝瀬景流氏の書道特別展が、県立文学書道館で 10 月から 11 月にかけて開催されました。若くして才能を発揮し、多くの後進を育てた書家の力強く流麗な書が展示され、あらためてその实力を見せていました。

6 月には美術工芸部会長の松下慶一さんの作陶展がイオンホールであり、多くの近作を展示していました。8 月にはデザイン部会長の坂野美恵子さんのグラフィクアート展が県立近代美術館ギャラリーであり、初期から現在までの変遷が見られました。9 月から 11 月にかけて、洋画部会長の平木美鶴さんの作品展は、退官記念を兼ねて相生森林美術館の企画展として版画、絵画、オブジェなど並べられた見応えのある作品展示になっていました。

慶事として、洋画部会員の下時治郎秀臣さんが「第 15 回とくしま芸術文化賞」に選ばれました。長年の地域での芸術活動に貢献された実績が評価されたものだと思います。誠にありがとうございます。

訃報については、陶芸家として伝統工芸の振興、陶芸文化の交流などで尽力された矢野款一氏が、3 月 21 日に 80 歳で逝去されました。また、長年にわたり県内の日本画壇をけん引し、美協副会長としてもご尽力いただきました日本画家の長尾弘子氏が、10 月 5 日に 93 歳で逝去されました。お二人のご功績を称え、心よりご冥福をお祈りいたします。

最後になりましたが、本協会に対してご協力、ご支援を賜りました徳島県、徳島新聞社、四国放送及び徳島県美術家協会関係者の皆様に心より感謝の意を表します。

令和 6 年 3 月

令和5年事業報告 (2023.1.1～2023.12.31)

- (1) 総 会 ◇令和5年5月20日(土) あわぎんホール
- (2) 第29回放美展 (別掲)
- (3) 第77回徳島県美術展 (別掲)
- (4) 第19回徳島県子ども美術展 (別掲)
- (5) 第77回徳島県美術展 選抜展 (別掲)
- (6) 関係会議 ◇5月25日(木) 第77回(2023)県展 第1回運営委員会 徳島新聞社
◇7月25日(火) 第30回(2024)放美展 第1回運営委員会 四国放送
◇8月10日(木) 第77回(2023)県展 第2回運営委員会 徳島新聞社
◇12月1日(金) 第30回(2024)放美展 第2回運営委員会 四国放送
- (7) 部会行事 ◇日本画部 第60回新作日本画展(6.22～6.25) 阿波銀プラザ
◇洋画部 第36回洋画部会員展(7.27～7.30) あわぎんホール
◇写真部 徳島県美術家協会写真部会展(7.7～7.9) 阿波銀プラザ
- (8) 各種後援 ◎第7回 由源書心会展 (1.7～1.9)
◎第14回 とくしま芸術文化賞受賞記念 四宮久子油彩画展 (1.13～1.18)
◎第50回 記念 光輪社書作展 (1.20～1.22)
◎美泉・春琴書作展 (1.21～1.23)
◎第54回 モダンアート徳島支部展 (1.26～2.1)
◎四国大学書道文化学科卒業制作展 (2.3～2.5)
◎第18回 二市絵画交流展 (2.4～2.5)
◎第46回 東玄書道会展
併催 瀬戸内寂聴さんを偲び寂聴の句集「ひとり」を書く (2.4～2.6)
◎第43回 八紅展 (2.23～2.26)
◎第17回 令和4年度 徳島大学書道部・OB会書作展 (3.3～3.5)
◎第55回 書道研究 清潮 書作展 (3.10～3.12)
◎第43回 書研社展 (3.24～3.26)
◎第4回 徳島玄心会書展 (3.31～4.2)

◎鳴門水彩美学展	(4.15～4.18)
◎第37回 正鋒会書展 学生・児童の作品展	(5.4～5.7)
◎第45回 写真同人「炎」作品展	(5.19～5.21)
◎第59回 溪生社水墨画展	(5.19～5.21)
◎藤村煌永書作展	(5.24～6.4)
◎第29回 耿の会書作展	(5.26～5.28)
◎徳島アート21 第20回展	(6.1～6.4)
◎成蹊書道会展	(6.2～6.4)
◎人生に感謝を込めた art ～あいの風～	(6.2～6.4)
◎第44回 東光会徳島支部展	(6.9～6.11)
◎第60回 新作日本画展	(6.22～6.25)
◎徳島県美術家協会写真部会展	(7.7～7.9)
◎第81回 世代美術展	(7.13～7.16)
◎吉野川市芸術祭 第19回 総合美術展	(7.15～7.17)
◎第34回 長玄書道会展 テーマ「徳島の物産品」	(7.21～7.23)
◎第17回 写真同人「光」写真展	(8.18～8.20)
◎坂野美恵子グラフィックアート展	(8.22～8.27)
◎第29回 三美書研展(三好美馬書道研究会展)	(8.25～8.27)
◎坂野美恵子グラフィックアート展(吉野川市)	(9.1～9.3)
◎第88回 書芸院展 一斯く斯く然々ー	(9.7～9.10)
◎沢口 功ポスターデザイン展	(9.11～9.24)
◎第6回 アワ・アート 阿波美術の森作品展	(9.13～9.19)
◎旺玄会三人展～画の探求、私の調和～	(9.20～10.1)
◎第68回 書協人展	(9.28～9.30)
◎第29回 徳島障がい者芸術祭エナジー 2023	(10.3～10.8)
◎第47回 旺玄会徳島支部展	(10.5～10.16)
◎第8回 写真倶楽部八丁目写真展	(10.13～10.15)
◎第40回 青彩美術&第48回あわ洋画ぐるうぷ合同展	(10.19～10.22)
◎第63回 写楽会写真展	(10.20～10.22)
◎第26回 泰書展 テーマ：跡	(10.28～10.29)
◎AWA現代アート展 2023 —お山の芸術祭—	(10.29～11.5)
◎徳島アート 21 設立 20 周年記念特別展	(11.2～11.5)
◎第9回 虹光会書展	(11.10～11.12)
◎第37回 藍美展	(11.10～11.12)
◎第13回 徳島女流美術展	(11.12～11.15)
◎第27回 尚真書展	(11.14～11.16)
◎第26回 溪生社水墨画小品展	(11.17～11.19)

◎第 19 回 吉野川市書人会作品展	(11.17 ~ 11.19)
◎第 26 回 せせらぎ書展	(11.17 ~ 11.19)
◎第 15 回 徳島絵画美学会	(11.17 ~ 11.20)
◎第 8 回 由源書心会展	(11.17 ~ 11.19)
◎第 20 回 記念 徳島版画展	(11.21 ~ 11.26)
◎第 53 回 芳藍書道展	(11.23 ~ 11.26)
◎第 53 回 直心会書展	(11.24 ~ 11.26)
◎第 54 回 ナルトぴんぼけクラブ写真展	(12.1 ~ 12.3)
◎第 8 回 書道創作グランプリ—手本のない“実力”作品展—	(12.2 ~ 12.10)
◎第 43 回 臨池書展	(12.2 ~ 12.3)
◎第 52 回 歳末チャリティー美術展	(12.14 ~ 12.17)

令和5年度 役員名簿

会 長	松 永 勉	理 事	能 仁 華 瑤
副会長	西 野 和 男	"	川 村 春 琴
"	荒 井 彭 仙	"	森 光 翔
事務局長	敷 島 のり子	"	坂 野 美恵子
理 事	岡 英 彦	"	田 中 一 郎
"	土 方 るみ子	"	敷 島 のり子
"	中 西 芳 雄	"	四十宮 隆 志
"	日 浦 猛 史	監 事	西 川 周 三
"	平 木 美 鶴	"	上 野 照 文
"	西 川 周 三	顧 問	河 崎 良 行
"	嵯 峨 潤 三		
"	鈴 木 敬 子		
"	手 塚 てる子		
"	上 野 照 文		
"	橋 本 圭 祐		
"	井 藤 光 章		
"	林 敏 彦		
"	増 田 寿		
"	居 上 真 人		
"	上 月 佳 代		
"	武 田 亜希子		
"	東 光 司		
"	松 下 慶 一		
"	森 賢 一		
"	森 明 治		
"	藤 井 哲 信		
"	亀 石 文 苑		
"	岩 本 志 豪		

令和5年度 各部役員名簿

日本画部

部会長	岡	英彦
委員	長尾	弘子
〃	西野	和男
〃	土井	洋子
〃	土方	るみ子
〃	柳田	一子
〃	坂	容子
〃	梶浦	千瑞
監事	中西	芳雄
〃	日浦	猛史
事務局員	日浦	猛史
〃	柳田	一子

洋画部

部会長	平木	美鶴
委員	梶田	務
〃	西川	周三
〃	伊勢	浩章
〃	嵯峨	潤三
〃	鈴木	敬子
〃	二條	均
〃	遠藤	誠一
〃	手塚	てる子
〃	大西	文代
〃	杉本	祥子
〃	林	伸也
〃	加川	由紀子
〃	川人	健司
監事	伊勢	浩章
〃	鈴木	敬子
事務局員	西川	周三
〃	手塚	てる子

写真部

部会長
委員

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

監事

〃

事務局員

〃

上野 照 文
橋本 圭 祐
井藤 光 章
林 敏 彦
増 田 寿
大 和 司
森 住 博
川 眞 慶
堀 眞 幸
野 口 美
梅 藤 子
岩 本 貞
平 崎 英
賀 野 史
船 川 泰
大 越 正
武 津 勝
土 地 成
野 橋 佳
三 木 理
森 内 昭
田 中 伸
井 上 憲
阿 部 啓
福 田 隆
吉 田 義
岸 田 義
板 東 美
熊 谷 一
高 橋 幸
森 住 憲
堀 口 啓
井 上 部
阿 部 治

彫刻部

部会長
委員

〃

〃

〃

〃

監事

〃

事務局員

〃

居 上 真 人
井 下 俊 作
武 田 亜希子
東 光 司
木 村 大 志
上 月 佳 代
武 田 亜希子
上 月 佳 代
木 村 大 志

美術工芸部

部会長	松	下	慶	一
委 員	山	上		馨
"	七	條	猪	三郎
"	森		賢	一
"	橘			惠
"	犬	伏		絢
"	斎	藤	和	彦
"	森		明	治
"	藤	井	哲	信
"	田	村	栄	一郎
"	大	貝	貞	雄
"	松	本		宏
"	丸	居	哲	雄
"	福	本	美	智代
"	長	尾	敏	子
"	上	田		優
"	内	藤	久	子
"	越		由	子
"	近	藤	佐	起江
監 事	大	貝	貞	雄
"	田	村	栄	一郎
事務局員	犬	伏		絢
"	松	本		宏

書道部

部会長	亀	石	文	苑
委 員	青	木	東	原
"	赤	川	景	舟
"	朝	三	阜	如
"	阿	部	博	子
"	荒	井	彭	仙
"	和	泉	和	舟
"	井	上	虹	雨
"	岩	本	志	豪
"	上	田	輝	芳
"	上	野	益	泉
"	内	田	麻	紀
"	大	西	清	葩
"	岡	崎	啓	香
"	沖	田	唐	谷
"	折	野	佳	子
"	折	野	幸	峰
"	加	村	喜	美子
"	川	上	虹	泉
"	河	野	真	流
"	河	野	多	美
"	川	端	康	清
"	川	村	春	琴
"	岸		緑	香
"	日	下	溪	翠
"	倉	本	景	雨
"	幸	田	清	尚
"	佐	野	収	華
"	清	水	桂	月
"	鈴	江	美	音子
"	鈴	木	恵	理

デザイン部

部会長	坂 野 美恵子
委 員	福 井 章
〃	齋 藤 繁 次
〃	沢 口 功
〃	吉 本 實
〃	齋 藤 志津子
監 事	生 田 典 子
〃	佐 藤 あすか
事務局員	山野井 宏 宗
〃	小 林 あ い

第 29 回放美展記錄



2年の間延期となっていた第29回放美展は、コロナ対策の措置が講じられ全部門開催することができた。審査は非公開とし、ギャラリートークは中止した。

出品書類受付	2023年4月8日(土) 必着		
作品搬入	4月29日(土)	9:30～12:00 (業者)	
		13:00～19:00 (個人)	
審査・展示	4月30日(日)	9:00～12:00	
		13:00～17:00	
会期	5月3日(水)～5月6日(土)		
	10:00～17:00 (入場は16:30まで)		
会場	あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)		
表彰式	5月5日(金)	14:00～	あわぎんホール 5階

日本画

[審査員]	岡 英彦	中西 芳雄	日浦 猛史
[無鑑査]	富永 博子	西岡 ちほ	
[放美賞]	宇山 和希		

[優 秀 賞]	木原 典子				
[四国大学賞]	山田 梨央				
[入 選]	水田 貴子	新居左よ子	谷 尚武	佐藤 恵子	鈴木 恵子
	大西 英徳	津司 敬子	久保 守近	西田 江美	中溝 敦子

洋 画

[審 査 員]	栢田 務	伊勢 浩章	手塚てる子		
[無 鑑 査]	杉本 祥子	小笠原秋子	鈴木 敬子	北村 照子	
[放 美 賞]	松尾心々菜				
[優 秀 賞]	岩井 千晴	ふうや	小川 美輝	黒島 貞子	遠藤公美子
	高木 幸美				
[四国大学賞]	池永美穂季				
[入 選]	三橋 玄児	上原 俊代	山上 勇	林 静代	西條 敏夫
	新藤佐代子	杉村 良典	武田 洋子	井関久美子	前野 亮治
	林 敏雄	細谷 孝子	林 茂子	大垣 沙虹	阿部 昌子
	中木 恵子	松浦 一	井添 弘美	米田恵美子	藤本 誠子
	東條 博人	宮内 一子	高宮 達博	今井 雅省	山田あけみ
	福井 摂哉	小倉満智子	須藤 洋史	小笠 正明	田岡 町子
	稲木 友哉	Kaori	小池みどり	福本 恵	忠津 憲穂
	天田 芹奈	中川 穂香	宮田こころ	笹田小羽音	森垣 行人
	西 広生	工藤 桂子	栗本 敬子	岩井 春美	西野 晴香
	田上 愛莉	中島 那寧	小野 怜奈	岸野 来美	市山みづき
	西川友里恵	西村 数美	中村 俊夫	坂東 悦子	川人 健司
	平野 幸子	押栗 洋子	村川 千代	竹原 杏	川人 文代
	小河 京子	竹内 定義	篠原 稔	信田 幸一	杉山 里美
	佐藤 嘉子	相田 結菜	森 日香	小倉健太郎	坂東 弘子
	仁木 英子	佐藤 大真	清原 真弓	高橋 佑奈	楠本 晴菜
	岡崎 恵	勝浦菜々美	黒島 知世	中島 結菜	遠藤 結衣
	中野 苺梨	松本 瑞生	尾本 翔太	後藤 妃奈	吉田実萌花
	天 泣	天野 和子	東 朗	清水 美玖	坂本 百霞
	浜中 優那	大久保佐智子	渡邊 小明	吉田 朱菜	中村木の実
	窪田 琉和				

写真

[審査員]	林 敏彦	大和 健司	船越 正文			
[無鑑査]	野藤みきよ 谷 ひづる	熊谷美智子 板東美智代	福井 純子	高橋 一恵	野藤 敏美	
[放美賞]	田上 吉輝					
[優秀賞]	幾田 茂仁 川野 阿佐	井上 義信 原田 愛	水口 ゆみ	邊見 博子	山上 堯	
[四国大学賞]	今井 雅貴					
[入選]	おどみ岐颯 (3)	幾田 茂仁 (2)	南 乙羽	野田 賢 (2)	板東 泰雄	
	岡 三希生	佐藤 政男	佐藤 康江	加地 亮詞	南 敦子 (2)	
	ふじをかひでかづ	森住 孝義 (2)	河野 俊文 (3)	水口 ゆみ (2)	大野 光祥	
	佐々木 正 (2)	正木 久	笹岡 真裕 (2)	吉田 隆之 (2)	谷 嘉明 (3)	
	竹内 一雅	井内 紀文 (2)	篠原 敏晃	笠井 孝純	鈴江 純史 (3)	
	岡本 満幸 (2)	三谷美津子 (3)	板東よしお (2)	姫野 博司	古岡 友子 (2)	
	住友 登 (3)	田上 吉輝 (2)	松本佳図子	山田 喜吉	邊見 博子 (2)	
	久保 朋也 (3)	信田 幸一 (2)	吉見 優輝	二階 博司 (2)	石川 征志 (2)	
	西内 健	今井 雅貴	西内 貴子 (2)	今出 弘 (2)	七條 浩一 (3)	
	山上 堯	山上 道子 (3)	平土 明弘 (2)	平土 貴子	井上 康子	
	林 好一	平島 久嗣	近藤 博之	柏原 史郎 (3)	庄野 里美	
	廣野美知子 (3)	山下 修司 (2)	緒方 静子	川野 阿佐 (2)	秋山 修一 (2)	
	圓藤由貴子	工藤 美弥	原田 愛 (2)	東條 英樹	武市 莉奈 (2)	
	富樫 涼					

彫刻

[審査員]	上月 佳代	東 光司	木村 大志		
[無鑑査]	横畠 寛	大貝 貞雄			
[放美賞]	藤川 綺月				
[優秀賞]	小田太一郎				
[四国大学賞]	佐藤 怜花				
[入選]	吉田 陽子	森 克江	猪井 賢二	松原 琉衣	

美術工芸

[審査員]	松下 慶一	七條猪三郎	多智花佐代子			
[無鑑査]	前野 亮治	近藤佐起江	久保 英樹			
[放美賞]	高瀬 裕司					
[優秀賞]	家形笑美子	向 紫	上村 昭子			
[四国大学賞]	雑賀 真裕					
[入選]	三橋 玄児	矢藤 妃夏	小松 優美	上田 優	西川 裕子	
	田岡 吉加	早見 敏子	高島 悦江	長尾賀代子	戎野 裕二 ⁽²⁾	
	長尾 敏子	柴 純代	阿部 能則	平瀬 進也	東條 容子	
	溝杭 美香	青木 壽美	若田 隆義	林 亜里紗	板東 啓子	
	岩坂 久美	小林 清重	武田 潤子	石川 眞一	元井 真紀	
	中山 愛子	谷中由佳里	大内 敏男	遠藤 好子	遠藤 勇	
	今川 朋恵	濱口 正義	松永 卓司	猪井 賢二	黒田 侑佑 ⁽²⁾	
	松本みづる	工藤 公子	大笠 真治	佐々木友香里	手塚 健一	
	吉野 由紀	上久保佳子	福良 理恵	尾藤 芳尚	増田 満	
	藤中 敦代	宮崎佳世子				

書道

[審査員]	山口 華城	岩本 志豪	亀井 文苑			
[無鑑査]	田村 元師	児玉 永祥				
[放美賞]	今治 宏美					
[優秀賞]	真鍋優妃乃	林 美羽	高橋 叶愛	田中 子葉	谷内 花聲	
	河野 春霽	糺 真理子	佐藤由紀代			
[四国大学賞]	高根 沙奈					
[入選]	戸出 芳泉	市原 彩光	光山 実沙	西 朱理	南 歩那	
	柿原 悠花	勝間 結菜	義友 真緒	澁谷 佳奈	逢坂羽瑠菜	
	石原 実侑	谷口 敦思	蓮池 惺名	安友しずく	中村 孔亮	
	吉岡 春鵬	深薮 美雪	手塚 浩美	小林 美紅	京野 白燕	
	畠山 花鮮	佐渡 梢花	前田 翠琉	北原 花音	香川百々花	
	佐竹 夏実	木本 実佑	篠原ことは	濱田 真愛	上田 優芽	
	伊藤 輝	田中 玲子	横谷 亮典	玉置 芽依	森口 祐理	
	先山 晴虹	斎藤 節子	丸岡 真弓	清水 芳雲	木村 仁南	
	木内 暎光	小笠 海雲	坂田 凛花	松家 優羽	木村 百花	

三宅 遙大	撫中 棕	秋山 果菜	丸関多賀子	鈴木 真奈
橘高 彩名	芝野 藍嘉	下内 美侑	三浦さくら	桼原 萌花
福田 歩美	新瀨 啓歩	西川 実希	武澤 萌杏	脇川 千里
井上 梓美	前田 妃菜	逸見 彩乃	橋本 愛美	山下 はな
大山こころ	森本ひかり	中川 小雪	組屋 雄紀	松英 彩華
石原 花暖	後藤帆乃楓	横瀬 采奈	福島 梨央	佐藤 穂香
一ノ宮菜緒	益田 順子	大館 心美	小田 光璃	小川 由貴
伊藤 綾音	野田 姫那	富永こはる	嵯峨 京	鈴江 美紀
井上 景玄	小川 湮	義富 博正	山田 美桜	武井 ひな
上田 華凜	川又 晃容	中川 晶裕	荒井 遥風	小野 宙成
正見 逸久	久米 福恵	庄野 信子	杉本あゆみ	坂尾 竟成
森本 成玉	寺西 陽子	堀 寛明	川端 康清	

デザイン

[審査員]	田中 一郎	敷島のり子	斎藤 繁次		
[無鑑査]	小林 あい	山野井宏宗			
[放美賞]	坂東 春音				
[優秀賞]	田中めぐみ	斎村 美侑	中原実乃里	藤井 寛喜	
[四国大学賞]	柿内 咲希				
[入選]	林 敏雄	上中ひかる	井上 陽向	田中菜実季	吉田 治文
	小笠 萌桃	松島 早紀	木村 衣吹	重清 嘉宏	小川 日菜
	外山 莉瑚	堂野 乃海	原 百那	廣岡 夏音	信田 幸一
	菊山 紗羽	新居 聖美	三宅 陽菜	橋本 伊吹	内海 舞雪
	村上 花瑠	岡本 玲奈	八木梨紗子	桼原 望来	山田百合愛
	坂本和香奈	岡崎 恵	中原実乃里	塚田 理彩	矢田さくら ⁽³⁾
	菅野 眞子	瀧口 汐音	片山あかり	桑田 咲紀	海原 堇
	原 彩由花	田村 侑誠	吉田 史菜	高力 理加	高野 友彰
	伊月 太陽	高田 空	武市 里紗	松浦 由依	金城 清雪 ⁽²⁾
	岸上奈那春	阿萬 美空			

第 29 回放美展出品・入選等状況

区分 \ 部門		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		19	141	186	10	76	202	89	746
出 品 者 数		19	129	79	10	57	170	81	545
入 賞 ・ 入 選	放 美 賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優 秀 賞	1	6	7	1	3	8	4	30
	四国大学賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入 選 数	10	96	113	4	49	104	50	426
	計	13	104	122	7	54	114	56	470
	入 選 率	68.4	73.8	65.6	70.0	71.1	56.4	62.9	63.0
選 外	落 選 数	6	37	64	3	22	88	33	253
	落 選 率	31.6	26.2	34.4	30.0	28.9	43.6	37.1	33.9
無 審 査 出 品	審 査 員	3	3	3	3	3	3	3	21
	無 鑑 査	2	4	7	2	3	2	2	22
	計	5	7	10	5	6	5	5	43
展 示 数		18	111	132	12	60	119	61	513

第 29 回放美展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	彫 刻
書翰受付期限	令和 5 年 4 月 8 日（土）			
搬入日	令和 5 年 4 月 29 日（土）			
搬入場所	あわぎんホール 3 階展示室（写真部門は 4 階展示室）			
審査日	令和 5 年 4 月 30 日（日）			
審査員	岡 英彦 中西 芳雄 日浦 猛史	樹田 務 伊勢 浩章 手塚てる子	林 敏彦 大和 健司 船越 正文	上月 佳代 東 光司 木村 大志
出品料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は 1 点 1,000 円（2・3 点目は無料）			
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内			
入 賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品数に応じて決定 ・四国大学賞 各部門 1 点（高校生・高専生（全学年）の入選作品から選出）			

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
書翰受付期限	令和 5 年 4 月 8 日（土）		
搬入日	令和 5 年 4 月 29 日（土）		
搬入場所	あわぎんホール 3 階展示室（写真部門は 4 階展示室）		
審査日	令和 5 年 4 月 30 日（日）		
審査員	松下 慶一 七條猪三郎 多智花佐代子	山口 華城 岩本 志豪 亀石 文苑	田中 一郎 敷島のり子 斎藤 繁次
出品料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は 1 点 1,000 円（2・3 点目は無料）		
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内		
入 賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品数に応じて決定 ・四国大学賞 各部門 1 点（高校生・高専生（全学年）の入選作品から選出）		

注 1) 入選数は出品点数に応じた規定数とする

- 2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担（梱包料金を含む）で返送する

第77回徳島県美術展記録

全部門において、公開審査が行われました。昨年に引き続きギャラリー賞を全部門に設け、受賞作品以外の入選作を対象に各部門1点を来場者に投票してもらい、最多票の作品に送られる賞です。日本画、洋画、写真、立体（彫刻）、美術工芸、漢字・篆刻、仮名、近代詩文、前衛、デザインから各1点、計10点が選ばれました。

クリエイター部門

第75回県展を記念し、プレイベントとして開催された「クリエイター部門」は、現代アート部門としてスタートし、今年で3回目を迎えました。

書類選考を通過した入選作が審査されましたが、第一席の特別賞の該当者は見送られました。展覧会は3期に分かれ開催されました。

会 期 令和5年10月9日（日）～15（土）

10：00～16：30（最終日は16時まで）

会 場 あわぎんホール 2階 特別展示室 [入場無料]

[審査員] 佐原 理 友井 伸一 熊谷 昭史

[特 選] 該当者なし

[準特選] 小浜 敏也 晴

[奨励賞] 松崎 葵 前野 亮治 松島 早紀 小浜かおり

[入 選] 北村 敏 三井 均 船越 正文 田中 公代 Sato

坂本 憲治 手作り工房「寛・美」 今井 雅省 正木 香乃

宮崎富美子 阿部 茜 庄野 佐代 信田 幸一 りんどーる

藤本 克子 乾 繁春 原 馨香 東 昂良 Cymbi

高原 美月 徳島穴吹カレッジ・マンガ・イラスト学科（代表・笹 希美）

同（代表・木下 尋稀） 同（代表・山本 愛莉）

同（代表・谷 聡真） 川添明日菜 三橋 哲也 Karin

橘 心音 ひさねこ 山本 愛莉



第77回徳島県美術展



ポスターは、県展ポスターデザイン公募で最優秀賞の堀部泰明さんの作品

■会 期：第1期 日本画・洋画・立体（彫刻）

令和5年10月11日（水）～16日（月）

第2期 写真・美術工芸・デザイン

令和5年10月18日（水）～23日（月）

第3期 書道

令和5年10月25日（水）～30日（月）

※1・2・3期とも10：00～16：30（最終日は16時まで）

■会 場：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

日本画

[審査員]	北田 克己					
[特別出品]	西野 和男	岡 英彦				
[招待]	土方るみ子	中西 芳雄	日浦 猛史	柳田 一子	反田 卓	
	坂 容子	梶浦 千瑞				
[無鑑査]	宮越 千佳					
[特選]	富永 博子 (県知事賞)					
	水田 貴子					
[準特選]	大栗美和子	石原 千鶴	植田 忠生			
[奨励賞]	神徳 実夢	木原 典子	吉村 敬子			
[入選]	近藤 芳治	川田 彩乃	山田 梨央	高瀬 道子	中溝 敦子	
	西岡 ちほ	円 央	大久保楨宙	宮崎 英子	西田 江美	
	後藤田 実	谷 尚武	秋月ヒサヨ	藤井 吉信		

洋画

[審査員]	山中 宣明					
[特別出品]	榊田 務	平木 美鶴				
[招待]	露口 敏幸	長尾 弘久	西川 周三			
[賛助出品]	松川 寛	中辻奈美枝				
[特選]	板井 義典 (県議会議長賞)					
	大坪潤一郎	今井 雅省				
[準特選]	金澤 和子	花菱 良一	福井 摂哉	手塚てる子	榊 和也	
	吉岡 毅					
[奨励賞]	森 幸江	石幸 忠雄	二條 均	勝間 楓弥	中野 苺梨	
[入選]	杉本 祥子	近清 哲夫	大津 憲文	西 広生	笹田 義宏	
	上田 幸子	吉川 光子	美馬 憲治	富本 勝子	植田フクミ	
	岩井 春美	林 敏雄	浅井 清司	田村 秀子	麻植 哲司	
	遠藤 結衣	勝浦菜々美	黒島 知世	松本 瑞生	吉田実萌花	
	林 静代	横畠 寛	栗岡 良平	三橋 玄児	川上 晴美	
	三木田眞由美	永江 礼子	阿部 昌子	下内千代子	坂東 優	
	藏本百合子	小浜 敏也	小川 美輝	港 善憲	船崎 久子	
	松本 勇夫	佐藤 敬子	西田シャーナメイ	坂東 富恵	島津 千尋	
	青木 幸子	村上 初江	久保 和子	小笠原秋子	田村 幸子	

藤井 博之	松本 啓子	西野 道夫	北村 照子	宮田 京子
中村 俊夫	岩井 千晴	福良 哲子	船本三千夫	鹿山 公弘
松尾心々菜	米田恵美子	平野 幸子	折目 早苗	河野 博匡
萩原 典子	美馬 潤子	山上 和秀	粟飯原満子	細川 禮子
藤本 誠子	大南 芳子	藤井 香世	遠藤公美子	川人 健司
藤本 千秋	前野 亮治	伊勢 浩章	矢野 和代	加川由紀子
後藤 和子	遠藤 誠一	長尾賀代子	内田 満	工藤 桂子
宮内 一子	西條 敏夫	三好 博子	井添 弘美	嵯峨 潤三
木村 尚美	土橋 正子	馬淵 尚子	谷口 克子	黒島 貞子
大平 妙子	鈴木 敬子	住友 洋士	天野 和子	西村 数美
大久保由子	東原 綺子	工藤 芳	小倉健太郎	西沢 幸広
坂本 彩奈	藤田 紗羽	前田 姫奈	小泉たか子	石川かおり
大西 文代	小笠 正明	谷 麻子	中筋奈津子	林 伸也
長坂 芳子	黒川 彰子	東 紀美子	西崎 志帆	坂本 百霞
坂東 弘子	岡崎 恵	川口 均		

写真

[審査員] ハービー・山口

[特別出品] 上野 照文

[招待]	木田 英之	三好 和義	森 賢一	橋本 圭祐	前浦 芳久
	林 敏彦	井藤 光章	増田 寿	柳本 正	大和 健司
	船越 正文	岩崎 英昭	久保 英樹	堀口 幸男	森住 博
	平野 史子				

[無鑑査] 大津 勝治 国見 良幸 宮本 幸治 川眞田慶治

[特選] 平島 久嗣 (県教育長賞)

多川 静守 秋山 修一 熊谷美智子

[準特選]	岡本 早苗	井上 義信	加藤 郁代	福井 純子	平土 貴子
	姫野 博司	川野 阿佐	高橋 一恵	賀川 泰廣	

[奨励賞]	井内 紀文	佐藤美智子	鈴江 純史	森住 孝義	庄野 里美
	武地 雅	笠井 孝純	野藤みきよ		

[入選]	多川 静守 ⁽²⁾	大島 茂信	水口 ゆみ ⁽²⁾	三谷美津子 ⁽³⁾	須原 仁志 ⁽³⁾
	遠藤 博敏 ⁽⁴⁾	廣野美知子 ⁽³⁾	近藤 博之 ⁽²⁾	山上 道子	山上 堯 ⁽²⁾
	脇 俊二 ⁽²⁾	幾田 茂仁 ⁽²⁾	林 和彦	原田 愛	南 敦子
	原 嘉久仁	山下 舞	谷 賢太郎	江口美恵子	大野 光祥

小原 英児 (2)	久保 朋也 (2)	河野 俊文	河野 悟子 (3)	谷 嘉明 (2)
井上 康子 (2)	山田 喜吉	福井 純子 (3)	平土 明弘	山下 修司 (3)
邊見 博子 (3)	田上 吉輝 (2)	森住 孝義	福原 敏雄 (2)	西内 健 (2)
吉村 敏嗣	西岡まゆみ	板東よしお	川野 阿佐	谷 ひづる (4)
竹内 一雅	櫛渕 紳哉	佐々木 正	庄野 里美	信田 幸一
秋山 修一 (2)	熊谷美智子 (2)	阿部 啓三 (2)	武地 雅 (2)	賀川 泰廣 (2)
福田 勉	圓藤由貴子	野口 佳一 (2)	川西 明雄	森内 昭男
田中 伸廣 (2)	喜屋武美沙子 (3)	野藤みきよ		

立体(彫刻)

[審査員]	小井土 満				
[特別出品]	松永 勉	居上 真人			
[招待]	井下 俊作	上月 佳代	武田亜希子		
[無鑑査]	東 光司				
[遺作]	鎌田 邦宏				
[特選]	佐藤 怜花 (徳島市長賞)				
[準特選]	二宮 治夫	横畠 寛			
[奨励賞]	小林 正則	大貝 寿子	鏡水 晶		
[入選]	高校生4人	(鏡 水晶	田中 啓大	河原 佑介	小島未来翔)
	小田太一郎	吉田 陽子	渡部 颯斗	森 克江	大貝 貞雄
	村澤 陽	藤川 綺月	中川 伸一		

美術工芸

[審査員]	山岸 大成				
[特別出品]	七條猪三郎	松下 慶一			
[招待]	森 賢一	橘 恵	犬伏 絢	斎藤 和彦	森 明治
	藤井 哲信				
[無鑑査]	越 由子	松本 宏			
[遺作]	矢野 款一				
[特選]	四十宮年代 (徳島新聞社長賞)				
	田村 公子				
[準特選]	吉田 陽子	長尾 敏子	近藤美佐子	田村 純子	

[奨励賞]	上田 優	河野 美枝	久保 英樹		
[入選]	吉田 陽子	遠藤 好子	東條 容子	遠藤 勇	楠 博子
	島本 政子	高橋 正昭 ⁽²⁾	小橋美知子	篠原 安雄	山本 仁恵
	前野 亮治	大井川良江	野田富美子 ⁽²⁾	竹岡 あや	富永 裕子
	丸居 哲雄	松原 敦子	板東 啓子	川村 桂子	高瀬 裕司
	西條由美子	井開 洋子	元井 真紀	阿部 能則	吉谷 正
	長尾賀代子	川島 千鶴	井上 英子	宮本 真弓	平瀬 進也
	手塚 健一	近藤佐起江	田村栄一郎	上村 昭子	吉野 由紀
	家形笑美子	西内 貞二	杉原 悦子	向 紫	濱口 正義
	内藤 久子	渡辺 正明	岡本 恵子	久保 英樹	青木 壽美
	山本 由実	小笠原久美子	市川裕紀子	小林 清重	住 廣子
	金澤 博子	楠岡 文子	鳥井 明子	松永 卓司	豊島 悦子
	谷 弘子	仁田 和子	林 亜里紗	村井 圭子	福本美智代
	山下 鴻峰	藤中 敦代	武田 潤子	近藤 眞子	松本みづる

書道

[特別出品]	荒井 彭仙	亀石 文苑			
[招待]	隅田 英二	清水 桂月	川上 虹泉	日下 溪翠	竹田 和代
	山口 華城	武市 鳴雲	中尾 勝子	富久 鳴泉	永松 春苑
	島田 小園	坂本 霄風	浜 佳香	多田 清芳	玉城 乾香
	薄田 玲泉	能仁 華瑤	宇山 泰鳳	岩本 志豪	林 桂翠
	山口 幽径	米澤 東籬	戸出 芳泉	平岡 幽琴	宮守 崇流
	詫間 勝陽	向井 京子	川村 春琴	谷本 藍泉	林 美雪
	上田 輝芳				
[無鑑査]	岸 緑香	矢部 知子	辻 紅雲	玉城 乾舞	高瀬 大峯
漢字・篆刻					
[審査員]	星 弘道				
[特選]	鳩成 広美	谷 弘美	佐藤 美和	吉田 幸代 (以上漢字)	
[準特選]	野口 有香	澤本 鈴美	赤松 信映	田村 元帥	西 朱理
	古川 恵巳 (以上漢字)				
[奨励賞]	磯川 味佳	佐野 陽子	田中 利子	河見 忠信	長井あゆみ
	(以上漢字)				
	田淵 勲 (篆刻)				
[入選]	牧野ヨシミ	大畠ひまり	山本 安子	吉田 鈴子	林 幸子

山口 幸子	中村 美子	丸岡 由美	土井 和也	岡部ひとみ
伊達三智子	岩本 義浩	高柳 由美	安丸 順子	仁木 彩愛
麻植 柚花	園尾 淑子	多田みどり	寺澤 歩花	塩田 龍澄
一宮 明美	木村 昌代	恵美 恵子	中田ゆかり	深薮 美雪
手塚 浩美	光山 実沙	市原 美希	稲木 裕美	四宮 千春
後藤 佳美	板東 亜美	藤永 真里	斎藤 節子	真田 秋江
石井 瞳	桎原 知明	吉平 順子	籙 品子	河野久美子
斎藤 裕子	中尾三智子	平田美香子	寺田 美穂	長松 芽吹
山崎 真美	山田みちる	八木 澄江	阪野 恵子	小倉 知子
山中 佳子	黒田 恵子	守田 禎子	片山 芳明	奥田 文子
中川恵美子	木内理映子	青木 博美	丸岡 真弓	山城美三子
吉田 陽子	沖田 章代	藤山真由里	阿部 千明	佐々 京子
近藤 美香	後藤 紀代	大塚 洋子	安友 彰子	仁木 輝実
吉村 敬子	堀江 孝己	森本 裕子	森川のぞみ	美馬 英恵
向井ひろみ	楠本 俊枝	鎌谷 幸代	上野 益代	大野シゲ子
岡本美津代	折野 茂幸	四宮 仁美	杉本 妙子	宮本 暁美
村部 幸子	柳本 真弓	河野多美子	妹尾 寛子	三好 元子
櫻木貴美子	井元 京子	安友 孝宣	佐藤 恵子	井内 久子
伊藤 輝	林 美穂子	北村 浩子	平田 真紀	中野 愉美
佐野恵美子	近藤 紀子	泉川真理子	三谷 展子	谷本真由美
松永 浩子	上田美千代	清水 宏子	小笠 英文	森口 月美
横田 典子	木村 礼子	大西 英徳	小田姫菜莉	秋山 果菜
三谷貴美子	市原マサ子	逢坂優妃奈	益田 順子	福家 佳余
佐渡 佳子	吉岡 逸子	畠山ゆかり	香川百々花	京野 美鈴
前田 珠里	佐竹 夏実	由宇 典代	谷内 直美	田中 育子
松村 就子	三木 孝之	田中 心杏	深山 寛子	馬居美智恵
山下弥栄子	三好 恵子	日野出夏穂	弘田 敏章	稲井 知子
春藤 真紀	柏尾美恵子	鈴木エリ子	新見 辰馬	田上 洋子
四宮 花奈	西川 実希	田中 玲子	賀上 宝子	大東シズヨ
(以上漢字)				
吉村 敬子	青木 幸代	仁木 史子	小林 義治	(以上篆刻)

仮 名

[審査員] 田頭 央渕
 [特 選] 田岡佐記子
 [準特選] 森 真美
 [奨励賞] 倉本 節子

糀 真理子
 森 裕美子
 阿部 博子

折野 佳子
 坂本 敬子

中村 公子

[入 選]	今津 英子 平尾 卓美 濱口 恵 中川 年代 森本 明美 背川 章子 豊岡真由美 本川 恵子 梅山 麻美 小川美由紀 寺尾 俊通 芳田 知子 鈴江美音子 河野さち子 森崎佐和子 向井 境子	尾田 知恵 岩佐 万葉 脇坂 優 和泉かず子 吉岡 三枝 一ツ松真弓 松本由希子 岡本小百合 阿部 亜希 安田希実子 杉本 裕子 中筋 良江 伊月 愛子 賛田美恵子 島田 利枝 町田 哲子	竹内 友里 長野 勇輝 内田 麻紀 三宅 葉子 内田 道幸 須本 恵子 廣瀬 久代 山本 美幸 井上 まり 野上 美紀 古谷 和代 近藤真千子 加村喜美子 山本 恵子 伊藤ヒデコ 大西 英徳	西岡 幹朗 林 英子 坪井 佳代 大久保雅子 内田美代子 梅山 眞澄 佐野 久美 宮崎 桂子 吉田 純 村上 洋子 井上小百合 出口末喜子 住友 春子 村田登志子 関根 史子	篠賀 知代 三好 育子 板東 杏樹 佐藤 悠月 井上 彰夫 仁井 和美 濱口須美子 阿部 洋子 桎原 知義 高橋加奈子 金子 博明 笹田 真里 馬地 理恵 佐藤 佳子 山本 愛美
-------	---	---	--	---	---

近代詩文

[審 査 員]	加藤 裕				
[特 選]	長原 七与 (四国放送社長賞)				
	丸田 三恵				
[準 特 選]	岡崎 啓子	幸田 康代			
[奨 励 賞]	仁木シモエ	野田 満代	大西 英子		
[入 選]	高橋 三紀	高橋美知江	武市 絢子	武田 淳子	谷本富美世
	玉城 安和	玉城 豪	田村 知恵	富永美知子	長尾由美子
	坂東 裕美	日野美佐子	福島 可琳	藤本 優子	藤原 一子
	正見 千恵	森岡嗣雅子	森田 廣子	森本知世子	森本 陽子
	横関久美子	吉田さい子	和田 悦代	和田富美子	朝三 和子
	荒井 弥和	石川 英郎	今治 宏美	居和城幸代	遠藤玻都恵
	大井 多栄	大西千鶴子	小野 幸久	賀上 宏実	桎山 正代
	川端喜美子	川又 敏香	木田 史子	金城 泰子	栗林 和江
	栗山 弘子	児玉 幸子	小部 直子	佐藤 恵子	坂尾 俊一
	藤村 良枝	井内 義典	松村 雅子	生野 久美	

前 衛

[審 査 員]	加藤 裕	
[準 特 選]	梶川 佳奈	大坂 昌代
[奨 励 賞]	林 芽生	

[入 選]	大胡恵里香	長崎 香	大胡 真美	前川わかな	仁尾 みや
	水野 知子	麻植塚由佳	藤本 智子	林 歩花	川村 悠月
	久米 千尋	小林 幸	上田 優	永井 厚子	山田 美桜
	嵯峨 京	中川 晶裕	武井 ひな	木徳 英幸	義富 博正
	島尾 明良	中川 博雅	佐藤由紀代	中川 富量	

デザイン

[審 査 員]	福島 治				
[特別出品]	田中 一郎	坂野美恵子			
[招 待]	斎藤 繁次	敷島のり子	斎藤 剛	四十宮隆志	沢口 功
	斎藤志津子				
[特 選]	松島 早紀 (県美術家協会会長賞)				
	井原 亘				
[準 特 選]	中原実乃里	佐藤あすか	重清 嘉宏		
[奨 励 賞]	鳥海 果蓮	田中 公代	大東かのん		
[入 選]	山野井宏宗	山本 紗栄	長田 琢人	西 楓翔	矢野 朝音
	中原実乃里	瀧口 汐音 ⁽²⁾	矢田さくら	菅野 眞子	海原 堇
	桑田 咲紀 ⁽²⁾	原 彩由花	山野井咲奈	塚田 理彩	楠 萌加
	正木 香乃	樫原 望来	佐藤あすか	岡本 玲奈	熊谷美智子
	枋谷 光	枋谷日菜子	糸田川初乃	松田 杏咲	斎村 美侑
	吉村 敏嗣	井上 芭菜	信田 幸一 ⁽²⁾	八木梨紗子	内海 舞雪
	吉田 朱菜	片山あかり ⁽²⁾			

ギャラリー賞

投票者の中で最も多く該当作と一致した方に、洋画部会長 平木美鶴作のアクリル画「My landscape」が贈られました。

日 本 画……西岡 ちほ
洋 画……宮田 京子
写 真……谷 ひづる
立体(彫刻)……藤川 綺月
美術工芸……渡辺 正明

書道〈漢字・篆刻〉…吉村 敬子
〈仮 名〉……廣瀬 久代
〈近代詩文〉……富永美知子
〈前 衛〉……中川 博雅
デ ザ イ ン……熊谷美智子
クリエイター……信田 幸一

※一部異字体は略字になっています。

第 77 回徳島県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	立 体 (彫刻)	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		31	232	446	20	109	594	63	1,495
出 品 者 数		31	188	126	18	82	356	47	848
入 賞 ・ 入 選	特 別 賞	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(7)
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選数	14	118	100	9	67	305	36	649
	計	22	132	121	14	76	340	44	749
	入選率	71.0	56.9	27.1	70.0	69.7	57.2	69.8	50.1
選外	落選数	9	100	325	6	33	254	19	746
無 審 査 出 品	特別出品	2	2	1	2	2	2	2	13
	招 待	7	3	16	3	6	31	6	72
	無鑑査	1	0	4	1	2	5	0	13
	賛助出品	0	2	0	0	0	0	0	2
	遺作出品	0	0	0	1	1	0	0	2
計		10	7	21	7	11	38	8	102
展示数		32	139	142	21	87	378	52	851

※ 各部門の特選数は特別賞を含む

第 77 回徳島県美術展公募規定

区分	部門	日本画	洋 画	写 真	立 体（彫刻）
搬入日		10月1日（日）	9月30日（土）	10月8日（日）	10月1日（日）
搬入場所		あわぎんホール（県郷土文化会館）3階展示室			
審査日		10月1日（日）	10月1日（日）	10月8日（日）	10月1日（日）
審査員		北田 克己	山中 宣明	ハービー・山口	小井土 満
出品料		美術家協会員1点目4,000円 その他の方5,000円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円			
出品制限・大きさ・仕上げ		・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない 最小が額縁の幅を除いた画面の縦横の長さが70.0センチメートル×47.0センチメートル以上で、最大が額縁の幅を含めた縦横の一边の長さが190.0センチメートル以内 堅牢なるパネル等を使用の上、額装とする パネル等の裏面には吊り紐をつけること パネルや画面が額より出ないこと アクリル・ガラス等で画面上を覆わないこと 注）徳島県美術展日本画出品規定における額装の額とは、作品正面から見て一辺の額幅が1.0センチメートル以上の木材又は金属で作られた外枠をいう 洋画20号（72.7cm×50cm）～60号（130.3cm×97cm）までとする S型は30号（91cm×91cm）までを上限とし、版画は八つ切額（30.3cm×24.2cm）以上とする アクリル、ガラス等で画面上を覆わないこと（ただし、水彩画、版画はアクリルに限って認める） 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 単写真、組写真とも半切（A3含む）から全倍（90cm×60cm） 画面の長辺は40cm以上90cm以内 スクエアサイズ（正方形）は一辺が30cm以上60cm以内 組写真は90cm×180cm以内に全作品を固定（不安定な作品の場合受け付けが来ないことがあります） 作品は必ずパネル貼りし、額装及びガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取りは不可 デジタル写真の合成・加工の出品制限はしませんが、出品票などにその旨を必ず明記すること。入賞などの場合は元データなどの提出を求めることがあります（自然風景、ネイチャーなどは基本、合成・加工などは禁止します） 高さ2×幅1.82×奥行1.5m以内、重量200kg以内 （上記サイズを超える作品は屋外展示とする） 材料等は自由、展示可能な作品に限ります			

区分	部門	美術工芸	書 道	デザイン
搬入日		10月1日（日）	10月6日（金）	10月8日（日）
搬入場所		あわぎんホール（県郷土文化会館）3階展示室		
審査日		10月1日（日）	10月7日（土）	10月8日（日）
審査員		山岸 大成	星 弘道・田頭 央彦・加藤 裕	福島 治
出品料		美術家協会員1点目4,000円 その他の方5,000円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ		・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない ・立体作品は、50cm立方換算以内（たて×よこ×おくゆきが125,000立方cm以内）とする 但し、たて100cm・よこ100cm・おくゆき100cm以内とする ・平面作品は、150cm平方換算以内（たて×よこが22,500平方cm以内）とする 但し、たて180cm・よこ150cm以内とする 木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラス等とし、展示できる用具を必ずつけることとする 半切又は全紙1/2以上、仕上がり面積1.47㎡（16平方尺）以内で縦・横自由 巻子・帖は40cm×300cm以内 篆刻は印影とし、タテ39cm×ヨコ30cm以内の額装に限る （例）61cm（2尺）×242cm（8尺） 枠張りに限る 79cm（2.6尺）×181cm（6尺） " " 91cm（3尺）×161cm（5.3尺） " " 121cm（4尺）×121cm（4尺） " " 半切・全紙1/2・連落まで額装アクリル入りでもよい 無鑑査以上の出品者は半切・全紙1/2以内、横幅90cm以内とする 次の部門に属する作品とする ①漢 字（臨書不可）・篆刻（模刻不可） ②仮 名（臨書不可） ③近代詩文書 ④前 衛（文字を表現したもの） それぞれ釈文をつけることとする B1サイズ（728×1,030mm）で厚さ5～75mm、外枠（幅20mm以内）を含めた重さが5kg以内とする イラストレーション・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わないが、ガラス額装は不可 実在の商品名、会社名等は不可とし、著作権・肖像権に触れないこと 画像生成AIを使用した作品は不可とする 吊り紐をつけることとする		

徳島県美術展審査員一覧

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	立 体（彫 刻） （46回まで彫刻）
1	委 員	野間 仁根・家永騏三郎	委 員	
2	大栗 旌仸	野間 仁根	上田 備山	太田 三郎・坂東 文夫
3	委 員	伊原宇三郎	同 上	太田三郎・坂東文夫・鹿内芳洲
4	委 員	須田国太郎	同 上	同 上
5	上村 松篁	田村孝之介	小野 由行	太田 三郎・坂東 文夫
6	西山 英雄	伊藤 継郎	川崎亀太郎	同 上
7	山口 華楊	田川 勤次	棚橋 紫水	新田藤太郎
8	池田 遙村	須田 剋太	同 上	太田 三郎・坂東 文夫
9	水田 竹圃	小出 卓二	同 上	同 上
10	管 桶彦	鈴木信太郎・野間 仁根	同 上	同 上
11	奥村 厚一	井上長三郎	岩宮 武二	同 上
12	浜田 観	福沢 一郎	棚橋 紫水	同 上
13	小松 均	藤井令太郎	同 上	辻 晋堂・坂東 文夫
14	秋野 不矩	針生 一郎	岩宮 武二	針生 一郎
15	奥村 厚一	向井 潤吉	棚橋 紫水	菅沼 五郎
16	同 上	吉原 治良	岩宮 武二	柳原 義達
17	松尾 冬青	中谷 泰	同 上	向井 良吉
18	矢野 鉄山	池島勘治郎	同 上	安田周三郎
19	中村 貞以	森 芳雄	堀内初太郎	堀内 正和
20	曲子 光雄	桂 ムキ子	岩宮 武二	植木 茂
21	沢野 文臣	伊谷 賢蔵	同 上	佐藤 忠良
22	堂本阿岐羅	村井 正誠	同 上	辻 晋堂
23	松岡 政信	山下大五郎	同 上	井上 武吉
24	山崎 忠明	大沢 昌助	棚橋 紫水	菊池 一雄
25	奥村 厚一	斉藤 真成	同 上	原 武典
26	梶 喜一	島村三七雄	同 上	掛井 五郎
27	上原 卓	高田 誠	伊藤 知己	松村外次郎
28	黒光 茂樹	中間 冊夫	岩宮 武二	小島 広志
29	松岡 政信	島田 章三	同 上	保田 春彦
30	黒光 茂樹	田中 岑	岩宮 武二	篠崎 明雄
31	河合 健二	田中 忠雄	同 上	江口 週
32	長谷川青澄	山口 長男	岩宮 武二・伊藤 知己	一色 邦彦
33	松岡 政信	吉井 忠	岩宮 武二・秋山庄太郎	柳原 義達
34	山岸 純	小西 保文	岩宮 武二	清水九兵衛
35	樋笠 数慶	荻 太郎	同 上	桜井 祐一
36	坂口麻沙子	吉井 淳二	岩宮 武二	土谷 武
37	下田 義寛	野見山暁治	同 上	山本 正道
38	同 上	須田 寿	高田 誠三	清水九兵衛
39	同 上	斉藤 真一	同 上	城田孝一郎
40	下保 昭	津高 和一	岩宮 武二・高田 誠三	清水 良治

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
鬼塚 信之	委 員	
同 上	田中 白村	
同 上	炭山 南木	
同 上	炭山 南木・織田 子青	
同 上	手島 右卿	
鬼塚 信之・新田藤太郎	同 上	
鬼塚 信之	小坂 奇石	
明石 朴景	辻本 史邑	
会田 裕宣	織田 子青(漢)・出口 草露(仮)	
鴨 政雄	松 井 恕 流	
近藤 悠三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平松 宏春	同 上	
同 上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石・田中双鶴・田中栢翠	
大西 忠夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明石 朴景	同 上	
平松 宏明	同 上	
大西 忠夫	同 上	
鴨 政雄	同 上	
平松 宏春	同 上	
内田 邦夫	同 上	
山脇 洋二	同 上	
槻尾 宗一	同 上	
山脇 洋二	荒井 天鶴・後藤 泰秀・田中 栢翠・富永 眉峰	
藤本 能道	同 上	
三井安蘇夫	同 上	金野 弘
六角 顕雄	同 上	大智 浩
鈴木 貫爾	同 上	早川 良雄
田村 耕一	同 上	原 弘
山脇 洋二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中 一光
浅野 陽	同 上	奥野 秀雄
前田 泰次	同 上	灘本 唯人
山脇 洋二	同 上	大高 猛
中村 光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田 繁雄
山脇 洋二	同 上	永井 一正
田村 耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰・西岡楚峰	山城 隆一
同 上	同 上	粟津 潔
山下 恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中 一光
同 上	同 上	長友 啓典
浅野 陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿・高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡楚峰	亀倉 雄策

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	立 体 (彫 刻) (46 回まで彫3型)
41	橋田 二郎	小松崎邦雄	奈良原一高	淀井 敏夫
42	松本 哲男	国領 経郎	岩宮 武二	木津 一夫
43	山岸 純	利根山光人	三木 淳	橋本 省
44	平川 敏夫	赤穴 宏	高田 誠三	山崎 猛
45	福井 爽人	桜井 寛	三木 淳	土谷 武
46	岩沢 重夫	大森 朔衛	同 上	峯田 敏郎
47	穂田 一穂	谷本 重義	立木 義浩	小島 弘
48	田淵 俊夫	大沼 映夫	杵島 隆	建畠 覚造
49	中路 融人	馬越 陽子	同 上	綿引 道郎
50	下田 義寛	三栖 右嗣	奈良原一高	古島 実
51	工藤 甲人	中根 寛	斉藤 康一	恩田 静子
52	那波多目功一	松樹 路人	細江 英公	石井 厚生
53	那須 勝哉	藤田 吉香	高田 誠三	香浦 有爾
54	内田めぐり	奥谷 博	同 上	小林陸一郎
55	松尾 敏男	佐々木 豊	大石 芳野	日原 公大
56	山崎 隆夫	大津 英敏	同 上	石黒 鐸二
57	岩本 和夫	山本 貞	細江 英公	原 武典
58	大矢 紀	福島 瑞穂	江成 常夫	菅原 二郎
59	竹内 浩一	中山 忠彦	大石 芳野	米林 雄一
60	小嶋 悠司	絹谷 幸二	江成 常夫	北郷 悟
61	宮廻 正明	山本 文彦	同 上	鈴木 久雄
62	能島 和明	島田 鮎子	英 伸三	中垣 克久
63	雲丹亀利彦	桜井 寛	田沼 武能	林 武史
64	西田 俊英	塗師祥一郎	同 上	津田 裕子
65	岡村 倫行	金山 佳子	三好 和義	建畠 朔弥
66	宮 いつき	大津 英敏	江成 常夫	深井 隆
67	小山 硬	笠井 誠一	大石 芳野	湯村 光
68	土屋 禮一	佐藤 泰生	同 上	保田井智之
69	上村 淳之	池田 清明	織作 峰子	村井 進吾
70	中島 千波	堀 研	江成 常夫	三沢 厚彦
71	中野 嘉之	久野 和洋	三好 和義	木戸 修
72	村岡貴美男	森本 勇	大西みつぐ	國安 孝昌
73	西久松吉雄	室越 健美	大石 芳野	井田 勝己
74	宮北 千織	湯山 俊久	立木 義浩	黒川 弘毅
75	國司 華子	平岡 靖弘	同 上	常松 大純
76	小西 通博	川村 悦子	ハービー・山口	西野 康造
77	北田 克己	山中 宣明	同 上	小井土 満

美術工芸	書 道	デザイン (37回まで商業美術)
中村 光哉	明石 春浦・坪井 正庵	伊藤 憲治
浅野 陽	桜井 琴風・黒野 清宇	サイトウ・マコト
山下 恒雄	大岡 皓崖・山田 伍雲・西野 象山	佐藤 晃一
三浦小平二	花田 峰堂・小山 素洞・東地 滄厓	河北 秀也
松永 勲	浅見 綿龍・森本 妙子・加藤 大碩	松永 真
山下 恒雄	近藤 摂南・東山 一郎・中野 北溟	浅葉 克己
島田 文雄	谷村 意齋・植村 和堂・太田 義久	勝井 三雄
大西 長利	安原 皐雲・池田 桂鳳・金子 卓義	五十嵐威暢
山下 恒雄	鈴木 桐華・西本 支星・金子 聴松	青葉 益輝
島田 文雄	尾崎 邑鵬・井茂 圭洞・大井 錦亭	松永 真
中井 貞次	栗原 蘆水・榎倉 香郎・種谷 扇舟	安西 水丸
栗木 達介	甫田 鶏川・小山やす子・石飛 博光	U. G. サトー
宮田 亮平	杭迫 柏樹・藤木 正次・吉田 成堂	早川 良雄
松永 勲	津金 孝邦・池田 桂鳳・松永 暘石	戸田 正寿
竹内 順一	田中 節山・村上 俄山・黒田 玄夏	杉浦 康平
栗木 達介	宮崎 葵充・赤江 華城・金子 卓義	秋山 孝
中井 貞次	星 弘道・宮重 小蘭・西野 象山	遠藤 享
島田 文雄	吉川 蕉仙・清水 透石・作田 英嗣	中村 誠
竹内 順一	岩井 韻亭・光宗 道子・大井 錦亭	小島 良平
宮田 亮平	伊藤 天游・井茂 圭洞・田岡 正堂	永井 一正
島田 文雄	稲垣 菰圃・横山 煌平・船本 芳雲	新島 実
増村紀一郎	樽本 樹邨・東山 一郎・辻元 大雲	三木 健
石川 充宏	真神 巍堂・前島 泉洲・長谷川牧風	松井 桂三
竹内 順一	鈴木 春朝・山本 高邨・砂本 杏花	河北 秀也
山下 了是	大河内仙嶽・師田 久子・飯高 和子	勝井 三雄
大樋 年朗	土井 汲泉・舟尾 圭碩・百瀬 大熊	佐藤 晃一
宮田 亮平	西村 自耕・岩永 栖邨・西野 象山	新村 則人
豊福 誠	今村 桂山・横山 煌平・森本 龍石	福島 治
若山 裕昭	渡部 清・田頭 一舟・鈴木まつ子	秋山 孝
山下 義人	鬼頭 墨峻・吉川美恵子・小竹 石雲	伊藤 豊嗣
中井 貞次	西嶋 慎一・山根 互清・渡部 會山	松下 計
若山 裕昭	新井 光風・村上 俄山・室井 玄聳	杉崎真之助
島田 文雄	伊藤 一翔・岡田 直樹・井之上南岳	川上 佳代
大樋 年雄	吉澤 鐵之・高木 厚人・永守 蒼穹	居山 浩二
山下 義人	真神 巍堂・舟尾 圭碩・鈴木 不倒	対馬 肇
宮田 亮平	高木 聖雨・近藤 浩乎・奈良 尚石	新村 則人
山岸 大成	星 弘道・田頭 央洩・加藤 裕	福島 治

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」で構成する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から2名の合計20名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社3名の計4名で構成する。事務局の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、立体（彫刻）、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

(1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

(1) 特選を連続3回得たもの。

(2) 年間を問わず特選を4回得たもの。

(3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）

(4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

（注）① 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

② 75回展以降の奨励賞については2回の取得をもって準特選1回として扱う。
なお無鑑査を得る場合の上記(3)及び(4)の回数計算において余分な奨励賞が算出された場合は切り捨て（無効）とし、無鑑査を超えての算入はしない。

◇次のものを特別出品とする。

(1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、審査員及び各部の会長。

(2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得たもの。

（注）招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。天災や審査員の特別な事情で審査が行えない場合は各部会の運営委員が運営委員長と協議の上、新たな審査員を決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳 島 県 知 事 賞	3	3 以内	規定数
洋 画	3	徳 島 県 議 会 議 長 賞	6	5 "	"
写 真	4	徳島県教育委員会教育長賞	9	8 "	"
立体（彫刻）	1	徳 島 市 長 賞	2	2 "	"
美術工芸	2	徳 島 新 聞 社 長 賞	4	3 "	"
書 道	8	四 国 放 送 社 長 賞	14	13 "	"
デ ザ イン	2	徳 島 県 美 術 家 協 会 長 賞	3	3 "	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1部門1人1賞とする。

第9条（表 彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、記念品
2. 準 特 選……賞状、記念品
3. 奨 励 賞……賞状
4. 入 選……賞状
5. ギャラリー賞……賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料

3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金
5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年12月に決算を行い、運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1点目4,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
2. 一般の方の出品料は、1点目5,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
3. 高校生の出品料は、1点目2,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
4. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は1点4,000円とする。

第12条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 600 円 | 当日 800 円 |
| 2. 高 校 生 | | 無料 |

第13条（附 則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成4年2月22日	一部改正
平成4年5月16日	一部改正
平成8年5月25日	一部改正
平成11年5月14日	一部改正
平成13年5月30日	一部改正
平成14年9月25日	一部改正
平成17年6月14日	一部改正
平成18年4月11日	一部改正
平成23年2月20日	一部改正
平成24年2月24日	一部改正
平成25年8月20日	一部改正
平成26年8月6日	一部改正
平成27年2月18日	一部改正
令和3年3月1日	一部改正
令和5年3月2日	一部改正

第19回徳島県こども美術展



〈徳島県知事賞〉
川内北小学校
4年 豊川 勇人



〈徳島県知事賞〉
大麻中学校
2年 岩田あかり

一般展 特別賞

賞	絵 画	書 写
徳島県知事賞	川内北小学校 4年 豊川 勇人	大麻中学校 2年 岩田あかり
徳島県議会議長賞	福島小学校 1年 住吉 凌成	半田小学校 4年 岡 結子
徳島県教育委員会教育長賞	藍住東中学校 3年 妹尾 風薫	池田小学校 1年 濱田千代悠
徳島県市町村教育委員会連合会会長賞	羽ノ浦中学校 3年 坂井 七海	半田小学校 3年 岡 樹生
徳島県美術家協会会長賞	鳴教大附小学校 4年 米澤有梨奈	国府中学校 1年 保井 志織
徳島新聞社長賞	佐古小学校 5年 川上 茉奈	江原中学校 3年 井口 雅妃

特別企画展 特別賞

【絵 画】

郡 菜々美（福島小1） 田中 陸翔（大松小2） 友野 涼風（脇町小3） 藤本 芭那（堀江南小4）
 蔭山 二瑚（鳴教大附小5） 尾西 碧（国府小6） 上野 詩月（藍住東中1） 松榮 海吏（阿南第一中2）
 神田 季凜（松茂中3）

【書 写】

田村 理央（鳴教大附小1） 鎌田 麻瑚（鳴教大附小2） 鎌倉 歩生（半田小3） 井上 美月（江原南小4）
 木本 和希（助任小5） 瀬尾 侑大（江原南小6） 兼西 希歩（半田中1） 鎌倉 花風（半田中2）
 大塩 蒼舗（脇町中3）



会場風景



表彰式

第 19 回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 10月12日(木)～10月16日(月)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 2,569 人

出品・入選等状況

【絵画部門】

※一般展は特選に特別賞を含む

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品						
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作
小 学 生	1年	645	2	2	11	25	40	6.20	90	235	1	10	15	26	11.06	56
	2年	685	2	2	12	28	44	6.42	78	189	1	7	13	21	11.11	35
	3年	712	2	2	23	26	53	7.44	56	239	1	8	12	21	8.79	41
	4年	603	2	2	15	36	55	9.12	69	152	1	5	10	16	10.53	19
	5年	541	2	2	20	35	59	10.91	62	158	1	4	15	20	12.66	25
	6年	527	2	2	17	31	52	9.87	59	135	1	8	8	17	12.59	16
中 学 生	1年	192	2	2	6	12	22	11.46	28	61	1	5	6	12	19.67	12
	2年	229	2	2	8	13	25	10.92	39	47	1	3	5	9	19.15	12
	3年	170	2	2	12	17	33	19.41	28	10	1	3	4	8	80.00	0
計		4,304	18	18	124	223	383	8.90	509	1,226	9	53	88	150	12.23	216

【書写部門】

※一般展は特選に特別賞を含む

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品							
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	計	入選率 (%)	佳作	
小 学 生	1年	298	2	2	9	21	34	11.41	28	305	1	9	20	30	9.84	30	
	2年	552	2	2	16	38	58	10.51	54	556	1	16	38	55	9.89	53	
	3年	1,023	2	2	33	62	99	9.68	102	704	1	20	39	60	8.52	41	
	4年	861	2	2	25	52	81	9.41	83	911	1	26	63	90	9.88	87	
	5年	703	2	2	21	49	74	10.53	68	713	1	22	49	72	10.10	68	
	6年	755	2	2	23	54	81	10.73	73	1,046	1	30	72	103	9.85	102	
中 学 生	1年	273	2	2	8	25	37	13.55	29	281	1	7	24	32	11.39	35	
	2年	244	2	2	7	24	35	14.34	23	226	1	6	20	27	11.95	30	
	3年	184	2	2	5	20	29	15.76	17	204	1	6	17	24	11.76	31	
計		4,893	18	18	147	345	528	10.79	477	4,946	9	142	342	493	9.97	477	

第 77 回徳島県展選抜展

会 期 令和 5 年 11 月 1 日 (水) ～ 11 月 6 日 (月)

午前 9 時 ～ 午後 5 時 (最終日は午後 4 時まで)

入場料 300 円 (高校生以下無料)

会 場 吉野川市文化研修センター 多目的ホール

主 催 NPO 法人吉野川市文化協会

協 賛 徳島県美術家協会

協 力 徳島新聞社

後 援 吉野川市、吉野川教育委員会、四国放送、日本中央テレビ、ケーブルネットおえ



出 品 数

- 日本画 12 点
- 立体 (彫刻) 6 点
- デザイン 8 点

- 洋画 24 点
- 美術工芸 18 点

- 写真 34 点
- 書道 54 点
- 合計 156 点

来場者数 798 人

各部記録

2023 年（令和 5 年）1 月～12 月

日本画部

部会長 岡 英彦

年間展望

◎第29回放美展（5月3日～5月6日 あわぎんホール）

応募点数は19点、その中から入選10点、入賞3点、計13点を選んだ。

放美賞の宇山和希さん「お悩み中」は、こどもがスーパーのお菓子売り場で悩んでいるような様子を表現し温かみのある作品、優秀賞の木原典子さん「刻」は、植物に対する作者の愛情が感じられ、花と葉の赤と白緑の色の対比が素晴らしい。四国大学賞の山田梨央さん「純愛」は、オニユリの花が新しい生命の誕生を感じさせる。惜しくも選に漏れた作品の中にも、個性的な作品や斬新な世界観でオリジナリティーのある表現のものもあった。

審査員（岡英彦・中西芳雄・日浦猛史）



放美展会場

◎第60回新作日本画展（6月22日～6月25日 阿波銀プラザ）

コロナの影響で2019年以来、4年ぶりの開催となった。意欲あふれる魅力的な作品が55点出品され、多くの鑑賞者でにぎわった。第61回展は2025年6月開催の予定。

新作大賞	「五月」	西田 江美	優秀賞	「しりたがり」	大久保植宙
新作賞	「ミモザ」	鈴木 恵子		「散歩の途中で」	鮎合 巧
	「杜の中で」	後藤田 実		「カサブランカ」	水田 貴子
	「ここにいるよ」	木原 典子		「出発」	新居左よ子
	「ひととき」	宮越 千佳		「私菴」	大西 英徳
				「夏日」	大栗美和子



新作日本画展会場



日本画ギャラリートーク

◎第 77 回徳島県美術展（10 月 11 日～ 10 月 16 日 あわぎんホール）

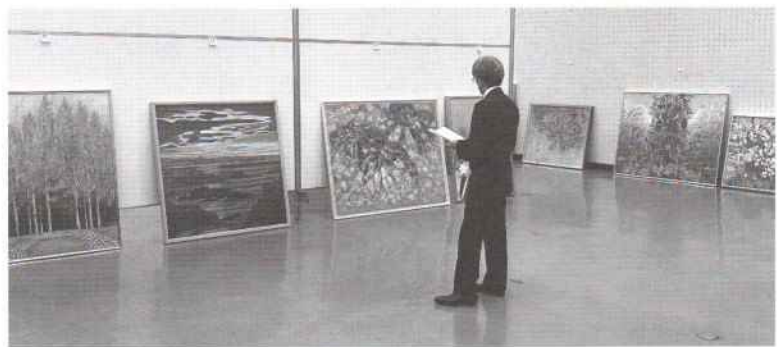
今回の審査は日本美術院同人の北田克己先生にお願いした。応募点数は 31 点で、その中から特別賞（徳島県知事賞）1、特選 1、準特選 3、奨励賞 3 を含む入選 22 点を選んだ。

また、特選、準特選などの作品に関する審査評は次のようなものであった。

徳島県知事賞の富永博子「夏雲」は、赤いタチアオイの花と背景の夏雲が調和して大胆な構図で勢いが感じられる印象深い作風、特選の水田貴子「紡ぐ」は、女性を包み込む空気感が繊細な色調を帯び、女性のたたずまいを印象的に見せている。

特別出品 2、招待 7、無鑑査 1、入選・入賞 22 の計 32 点を展示した。

また、吉野川市文化研修センターで開催された県展選抜展では、特別出品他計 12 点を展示した。



県展審査



審査風景

会員の計報

美協顧問の長尾弘子（93 才）さんが 2023 年 10 月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

会員消息 (月別)

2 月	第 51 回徳島市芸術祭美術展 日本画講座作品展	シビックセンターギャラリー 土方喜美子（特別出品）・鈴木恵子（招待） カルチャーセンター徳島 土方喜美子（賛助出品）・土方るみ子（賛助出品）
3 月	日本・中国水墨画合同展 第 6 回佐古絆文化協会作品展 第 63 回日本南画院展 東京展 第 5 回 NTT 趣味の展覧会	東京都美術館 新居左よ子 佐古コミュニティホール 久保守近 東京国立新美術館 藤井瑞雲（大阪市長賞） あわぎんホール 藤井吉信
4 月	第 26 回日本の美しい自然展 第 7 回新日春展	東京芸術劇場 久保守近 東京都美術館 土方るみ子・梶浦千瑞・秋月ヒサヨ
5 月	第 62 回阿南市春季美術展 はな・花展 第 59 回溪生社水墨画展	阿南市文化会館 植田忠生 眉峰ギャラリー 土方るみ子 あわぎんホール 久保守近
6 月	第 63 回日本南画院展 京都展 第 63 回日本南画院展 大阪展	京都市京セラ美術館 藤井瑞雲（大阪市長賞） 宝塚市立文化芸術センター 藤井瑞雲（大阪市長賞）
7 月	サロン展	山川地域総合センター 藤井吉信
8 月	第 6 回日美展 アスタリスク展 徳島県立近代美術館 1 階ギャラリー 第 48 回鴨島文化サロン展	東京国立新美術館 久保守近・新居左よ子 梶浦千瑞 鴨島本郷ビル 藤井吉信
9 月	第 24 回光琳水墨画合同展 土方るみ子日本画展 第 81 回有秋会日本画展	あわぎんホール 新居左よ子 田岡病院ギャラリー 土方るみ子 エル・おおさかギャラリー 藤井瑞雲
10 月	第 2 回光琳水墨画 3 教室展 2023 年度日本南画院選抜高島展	よんでんエネルギープラザ 新居左よ子 滋賀県高島市藤樹の里文化芸術会館 藤井瑞雲
11 月	サロン展 第 52 回阿南市文化祭美術展 第 13 回徳島女流美術展 第 26 回溪生社小品展	山川地域総合センター 藤井吉信 阿南市文化会館 植田忠生・新居左よ子 シビックセンターギャラリー 土方るみ子・柳田一子・石原千鶴・斎藤久代・宮越千佳 阿波銀プラザ 久保守近
12 月	第 32 回空谷記念田野全国水墨画展 第 52 回歳末チャリティー美術展	田野ふれあいセンター 新居左よ子 アミコ東館 6 階催事場 岡英彦・土方るみ子・久保守近

洋 画 部

部 会 長 平 木 美 鶴

年間展望

令和5年は放美展、県展も開催され、個展やグループ展、全国公募展やコンクール展なども通常開催され県内の美術も活況を示しました。

◎第29回放美展 会期：5月3日～5月6日 場所：あわぎんホール

141点出品で104点の入選入賞、入選率74%、出品者数では128人で104人の入選入賞、入選率81%で例年よりは入選率が5%ほど高くなっています。出品数は昨年より3点減っているのですが、出品者数は5名増えていました。複数点出品が減っているようです。審査員は榎田務、伊勢浩章、手塚てる子の3名で非公開審査でした。最初に複数作品を1点に絞り込んでから入選を決めました。その後に賞候補を26点決定してから放美賞、優秀賞、四国大学賞の8作品が決定されました。今回の放美賞も高校生でした。高校生の描写力の向上が目立っていましたので、これからの成長が楽しみです。賞候補の作品はあと一歩で賞となる秀作ばかりでした。以下が賞候補となった方の氏名です。（受賞者は除く）西条敏夫、林 敏雄、

細谷孝子、高宮達博、小笠正明、小池みどり、森垣行人、田上愛莉、小野玲奈、岸野来美、板東悦子、川人健司、村上千代、小河京子、相田結菜、勝浦菜々美、中島結菜、坂本百霞



審査風景

◎第36回洋画部会員展 会期：7月27日～7月30日 場所：あわぎんホールA展示室

今回の会員の出品者数は67名でした。出品者数は少し減りましたが作品の質は良かったと思いました。会期中にはギャラリートークを開催するのですが今回もコロナ対策として中止としました。入場者数は240名で昨年より大幅に減っています。これは会期中に猛暑が続き外に出ることを皆さんが控えていた事が影響していたようです。

事務局：遠藤誠一、会計：杉本祥子、監事：佐藤敬子

◎第77回県美術展 会期：10月11日～10月16日 場所：あわぎんホール

出品者数は188人、出品数232点で前回より出品者数は8人増え、出品数は11点増えました。県展全体で出品者数が減っている現在、少しでも増えていることはうれしい事です。審査の結果132点の入選（入賞も含む）でした。出品数からの入選率は57%で昨年より1.8%入選率が低くなっています。審査員は二科会常務理事の山中宣明先生をお迎えしました。今回の審査

は久しぶりに公開で行いました。抽象、具象、写実を均等に選ぶバランスの良い丁寧な審査でした。厳選の上、選ばれた入選作から 21 点の賞候補を選び、そこから 14 点の受賞作が選ばれました。賞と候補の質の差はなく、どの作品が受賞してもおかしくないと思います。今回も受賞作品と賞候補を中心とした展示にも工夫をしました。また、久しぶりに榊田と平木でギャラリートークを開催しました。以下に賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。西広生、岩井春美、田村秀子、遠藤結衣、久保和子、松本啓子、東紀美子



審査風景



審査風景



洋画展示



洋画展示

会員消息

- 青木 幸子 第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第20回展（阿波銀プラザギャラリー）、徳島アート21設立20周年記念特別展（シビックセンターギャラリー）
- 東 紀美子 徳島アート21第20回展（阿波銀プラザギャラリー）、徳島アート21設立20周年記念特別展（シビックセンターギャラリー）、第62回阿南市美術展・第52回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 伊勢 浩章 第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第20回展（阿波銀プラザ）、徳島アート21設立20周年記念特別展（シビックセンターギャラリー）
- 伊勢谷昭博 第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、ふるさとを描き遺す会（徳島城博物館）、第43回渭北文化祭展（渭北コミュニティーセンター）、伊勢谷昭博・大坪潤一郎の二人展（アートギャラリーグレース）、第52回チャリティー美術展（アミコシビックセンター）
- 伊良原貞子 第75回女流画家協会展（都美術館）、第81回世代美術展・第14回徳島絵画美学展（シビックセンター）、AWA現代アート展2023（御所山王子現代アート倶楽部）
- 乾 繁春 第97回国展（国立新美術館）、第15回徳島絵画美学展（シビックセンター）、鴨島絵画美学展・鳴門絵画美学展（吉野川市文化研修センター）、第36回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 岩井 千晴 第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第20回展（阿波銀プラザ）、徳島アート21設立20周年記念特別展（シビックセンターギャラリー）
- 岩井 春美 個展（徳島市民病院ギャラリー）、個展（阿波銀行福島支店ギャラリー）、第4回オペラいろの会水彩展（阿波銀プラザ）、個展（ギャラリーカフェ・ローズマリー）
- 宇高 桂子 第76回女流画家協会展（都美術館）、第36回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 遠藤 誠一 第20回徳島版画展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第36回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 越久 高照 第51回徳島市芸術祭美術展（シビックセンターギャラリー）、第36回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 岡崎 恵 第51回徳島市芸術祭美術展（シビックセンターギャラリー）
- 岡田 君代 第76回示現会展（国立新美術館）、第54回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第78回青美展・第76回示現会全国巡回徳島展・第36回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 小笠原秋子 第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、三野町文化祭（三野町体育館）
- 小倉満智子 第51回徳島市芸術祭美術展徳島市文化振興公社賞（シビックセンター）、第5回小倉満智子個展・植物画同好会「やまもも」展（花杏豆八万店）、第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、第2回近代日本美術協会大阪支部小品展（ギャラリーミウラ）、第45回近代日本美術協会大阪支部小品展（ギャラリーVEGA）、近代日本美術協会関西展（宝塚市立文化芸術センター・神戸市長賞）、AWA現代アート展2023（御所山王子現代アートスペース）
- 折目 早苗 AWA現代アート展2023（御所山王子現代アート倶楽部）

- 大西 文代 第40回青彩美術・第48回あわ洋画ぐるうぶ合同展(シビックセンター)、第36回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 大西利津子 第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、春季徳島二紀展(HIRAOKA ギャラリー)、第37回徳島二紀展(徳島県立近代美術館ギャラリー)、第76回二紀展(国立新美術館)、とくしま人物デッサン会会員展(アートギャラリーグレース)
- 大津 憲文 第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、第62回阿南市美術展・第52回阿南市文化祭美術展(阿南市文化会館)、徳島アート21第20回展(阿波銀プラザ)、徳島アート21設立20周年記念特別展(シビックセンターギャラリー)、大津憲文絵画展(ブリッサ)
- 大坪潤一郎 第6回土日会7月展(新宿ギャラリー絵夢)、第48回土日会展(国立新美術館)、第4回KENDO II洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)、2023絵と木の二人展(花杏豆)、AWA現代アート展2023(御所山王子現代アートスペース)、まわるまわるタブロー二人展(アートギャラリーグレース)、第36回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 加川由紀子 第76回女流画家協会展(都美術館)、第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第20回展(阿波銀プラザギャラリー)、徳島アート21設立20周年記念特別展(シビックセンターギャラリー)、それぞれの色洋画三人展(アートギャラリーグレース)
- 河本多恵子 第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第20回展(阿波銀プラザ)、徳島アート21設立20周年記念特別展(シビックセンターギャラリー)、国府文化祭(国府コミュニティセンター)
- 川人 健司 第51回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、第36回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 北村 照子 第51回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、第43回八紅展(阿波銀プラザ)、第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、第38回八万文化祭美術展(八万コミュニティセンター)、八紅展小品展(田岡病院ギャラリー)
- 久保 和子 第81回記念世代美術展・第15回徳島絵画美学展(シビックセンター)、第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、久保和子作品展(蔵のカフェもり)
- 近藤 克子 第10回日展(国立新美術館)、第89回東光展(都美術館)、徳島絵画美学展・徳島女流美術展(シビックセンター)、東光会徳島支部展・石井美術の会(あわぎんホール)
- 後藤ユリ子 第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、第49回自由美術香川グループ展(善通寺市美術館)
- 佐藤 敬子 第36回洋画部会員展・第78回青美展(あわぎんホール)、第81回記念世代美術展・第15回徳島絵画美学展(シビックセンター)
- 西條 敏夫 第34回現代パステル協会展(都美術館・京都京セラ美術館)、第45回鴨島グループ展(吉野川市文化研修センター)、個展(ギャラリー・ピエニュ)
- 下時治郎秀臣 第99回白日会展平松譲賞(国立新美術館)、選抜展(愛知県美術館)、関西展(近鉄アート館)、第10回日展(国立新美術館)、現代洋画秀作展(あわぎんホール)、鴨島美術グループ展(吉野川市文化研修センター)

- 四宮 久子 徳島芸術文化賞受賞記念四宮久子油彩画展・第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（ギャラリー平岡）、第37回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第76回二紀展（国立新美術館）、アトリエバク展（阿波銀プラザ）
- 志摩 政照 第18回二市絵画交流展・第44回鴨島美術グループ展・第18回総合美術展（吉野川市文化研修センター）
- 篠原佳代子 第47回昭和美術会展（京都市京セラ美術館別館）、昭和美術会委員推挙、第15回徳島絵画美学展・第13回徳島女流美術展（アミコシビックセンター）、第52回記念歳末チャリティー美術展（アミコ東6F）
- 島上 二郎 第10回日展（国立新美術館）、東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第89回東光展（都美術館）
- 杉本 祥子 第76回女流画家協会展（都美術館）、第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第20回展（阿波銀プラザギャラリー）、徳島アート21設立20周年記念特別展（シビックセンターギャラリー）、それぞれの色洋画三人展（アートギャラリーグレース）、第20回徳島版画展（徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 鈴木 敬子 第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、第45回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、第51回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、徳島アート21第20回展（阿波銀プラザ）
- 為実美恵子 第36回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 玉田 秀子 それぞれの色洋画三人展（アートギャラリーグレース）
- 谷 慎也 第54回土曜会（シビックセンターギャラリー）、第34回現代パステル協会展（都美術館）、第78回青美展・第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、谷真也・西条敏夫オイルパステル画二人展（アートギャラリーグレイス）
- 谷口 克子 第76回示現会展（国立新美術館）、第76回示現会全国巡回徳島展・第54回示現会徳島支部展（あわぎんホール）
- 竹原 良亮 第51回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第36回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 田中 敏雄 第51回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、第84回一水会（都美術館）、個展（アートギャラリーグレース）
- 近清 哲夫 第7回示現会徳島支部交流展（あわぎんホール）
- 手塚てる子 手塚てる子さくひん展（ギャラリー喫茶花杏豆）、手塚てる子版画展（ギャラリーM&M）、第101回朱葉展・国展受賞作家展（都美術館）、第97回国展（国立新美術館）、チェリモヤ徳島展・第36回洋画部会員展（あわぎんホール）、夢のホライズン展（アートギャラリーグレイス）、個展（ギャラリーカフェブリッサ）、第20回徳島版画展（徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 中村 俊夫 第76回示現会展（国立新美術館）、第54回示現会徳島支部展・第4回KENDOⅡ洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第76回示現会全国巡回徳島展・第36回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 中村 恵一 第53回石井美術の会作品展（あわぎんホール）
- 中辻奈美枝 徳島アート21第20回展（阿波銀プラザギャラリー）、徳島アート21設立20

- 周年記念特別展（シビックセンターギャラリー）、第 62 回阿南市美術展・第 52 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 西 富美 第 3 回埼玉独立小品展（ギャラリー彩光舎）、CoCo 展（東京銀座ギャラリー GK）、2023 春季独立新人選拔展（都美術館）、第 20 回埼玉独立展（埼玉県立近代美術館）、第 90 回独立展（東京国立新美術館）
- 西崎 志帆 Chemical Reactions8 展（Space31）、SELECTION V 2023 展（ART POINT）
- 西川 敬子 第 79 回関西水彩画会展（宝塚市立文化芸術センター）、第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 20 回展（阿波銀プラザ）、徳島アート 21 設立 20 周年記念特別展・徳島女流美術展（シビックセンターギャラリー）
- 西川 周三 第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 20 回展（阿波銀プラザ）、徳島アート 21 設立 20 周年記念特別展（シビックセンターギャラリー）
- 二條 均 第 36 回洋画部会員展・第 78 回青美展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 20 回展（阿波銀プラザ）、徳島アート 21 設立 20 周年記念特別展（シビックセンターギャラリー）
- 野口 暁子 第 43 回八紅展（阿波銀プラザ）
- 野上 恵子 第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 43 回八紅会展（阿波銀プラザ）、八紅会小品展（田岡病院ギャラリー）、ふるさとを描き残す会（あわぎんホール・徳島城博物館）
- 原 たず 第 48 回あわ洋画ぐるーぷ・第 40 回青彩美術合同展（シビックセンターギャラリー）
- 坂東 悦子 第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）、吉野川市阿波市二市交流展（吉野川市文化研修センター）、洋画三人展（カシュカシュ）、阿波アート・阿波美術の森作品展・第 47 回旺玄会徳島支部展（阿波銀プラザ）
- 坂東 富恵 第 4 回 KENDO II 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）
- 林 伸也 AWA 現代アート展 2023（御所山王子現代アート倶楽部）、第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）、個展（本郷ギャラリー）
- 林 敏雄 第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 信夫 第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 静代 第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 22 回アトリエ漠展・徳島アート 21 第 20 回展（阿波銀プラザ）、徳島アート 21 設立 20 周年記念特別展（シビックセンターギャラリー）
- 林 康太郎 第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 日野 邦恵 第 10 回日展（国立新美術館）、第 44 回東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第 89 回東光展（都美術館）、徳島アート 21 第 20 回展（阿波銀プラザ）、洋画 4 人展（ギャラリーカフェブリッサ）、第 45 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 平木 美鶴 第 36 回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（ギャラリー平岡）、第 37 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 76 回二紀展（国立新美術館）、第 20 回徳島版画展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 66 回 CWAJ 現代版画展（代官山ヒルサイドフォーラム）、第 90 回日本版画協会展（都美術館）、ギャラリーあじさい新春展（ギャラリーあじさい神戸）、個展（高島

屋京都店美術画廊)、第12回高知国際版画トリエンナーレ展(いの町紙の博物館)、個展(相生森林美術館)、個展(眉峰ギャラリー)、2023 グワンラン国際版画ビエンナーレ展(中国版画博物館)

- 平野 幸子 第4回 KENDO II 洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)
- 藤井 香世 第36回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 藤丸 家栄 徳島アート21 第20回展(阿波銀プラザ)、徳島アート21 設立20周年記念特別展(シビックセンターギャラリー)
- 藤本 誠子 第54回示現会徳島支部展・第22回アトリエ漠展(阿波銀プラザ)、第76回示現会徳島巡回展・第36回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 藤本 千秋 吉野川市選抜展(吉野川市文化研修センター)
- 福良 哲子 第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、第43回八紅展(阿波銀プラザ)、第96・97小松島市美術展(中央会館)、北小松島公民館文化祭(北小松島公民館)
- 松川 寛 松川寛個展(アートギャラリーグレース)、モダンアート徳島支部展・第53回石井美術の会作品展(あわぎんホール)
- 前川フキ子 徳島アート21 第20回展(阿波銀プラザ)、徳島アート21 設立20周年記念特別展(シビックセンターギャラリー)
- 前川 富子 第53回石井美術の会作品展・第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、個展・三人展(ギャラリーカフェブリッサ)、美術文化展(シビックセンター)、石井町文化祭(石井町公民館)
- 馬淵 尚子 第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、第18回二市絵画交流展・第45回鴨島美術グループ展・第19回総合美術展(吉野川市文化研修センター)
- 榊田 務 退職校長会生きがい展・第79回東光会徳島支部展・第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、第51回徳島市芸術祭美術展・チャリティ色紙展(シビックセンター)
- 眞野 尚枝 第84回一水会(都美術館)、第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、セルクルオーヴ展(京都市文化芸術会館)
- 三澤 尚子 第4回オペラの会水彩画展(阿波銀プラザ)
- 美浪 恵利 春季徳島二紀展(ギャラリー平岡)、第37回徳島二紀展(徳島県立近代美術館ギャラリー)、第76回二紀展(国立新美術館)、Spring Spectacle 作家が感じる瞬間(阪神百貨店)、LIFE いきものたちの世界・第60回太陽展・第62回ミニヨン展(日動画廊)、My Favorite Works2023「たんざく展」(Gallery TB)、細密描写に魅せられて～写実絵画展(福岡三越)
- 峯 幸子 第36回洋画部会員展(あわぎんホール)、第76回関西新制作展(原田の森ギャラリー)、第51回む・アート展(阿波銀プラザ)
- 簗手日登美 第107回二科展(国立新美術館)、第59回二科四国合同展(愛媛県立美術館)、2023 二科京滋支部展(京都府立文化芸術会館)、第13回徳島女流美術展(シビックセンター)、鴨島文化サロン(本郷ギャラリー)、2023 世代美術展(シビックセンター)
- 山口美千代 第36回洋画部会員展・第78回青美展(あわぎんホール)、三好市文化まつり(三好市公民館)
- 結城 栄子 第51回む・アート展(阿波銀プラザギャラリー)
- 吉岡 毅 個展・グループ展(よもぎ田 caffe)

写 真 部

部 会 長 上 野 照 文

年間展望

◎第 29 回放美展（5月3日（水）～6（木）あわぎんホール）

審査員林敏彦、大和健司、船越正文の3人で4月30日に行われた。出品人数79名出品点数186点。この中から放美賞1点、優秀賞7点、四国大学賞1点、入選113点が選出された。

◎第 77 回県美術展（10月18日（水）～23（月）あわぎんホール）

前年に引き続きハービー山口先生を迎えて10月8日に行った。出品人数126人応募点数446点 この中から特選4点、準特選9名、奨励賞8点、入選100点が選出された。

◎写真部撮影会

4年振りの写真撮影会を6月18日行いました。目的地は広島県尾道市で、38名の参加者があり有意義な一日を過ごせました。

◎県美術家協会写真部会展（7月7日～9日 徳島市・阿波銀プラザ）

写真部会展を初めて開催しました。出品は会員52名がそれぞれ得意の写真を出品しました。



県展写真部審査風景

会員消息

- ◎『藍屋敷武知家の記憶』櫛渕巍・上野照文写真展（～2月16日（木）石井町中央公民館）
- ◎第57回日本光画会写真展（1月19日（木）～22日（日）徳島市シビックセンター）
出品者：林 好一
- ◎第38回全日本写真連盟県本部写真展（1月27日（金）～29日（日）徳島市シビックセンター）
出品者：秋田召旨・秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大島茂信・大津勝治
賀川康廣・岸田義市・佐治 孝・野藤敏美・野藤みきよ・橋本圭祐・橋本 勝
林 和彦・林 敏彦・板東泰雄・姫野博司・廣野美知子・福井純子・福田 勉
水口義行・森 賢一・森内昭男・森住 博
- ◎岩崎英昭作品展（2月1日（水）～12日（日）板野町ギャラリーカフェブリッサ）
- ◎第17回日本風景写真協会徳島支部展（3月3日（金）～5日（日）徳島市シビックセンター）
出品者：岩崎英昭・板東よしお・吉田隆之
- ◎木田写真クラブ写真と短歌（3月31日（金）～4月2日（日）徳島県立近代美術館ギャラリー）
出品者：木田英之・喜屋武美沙子・林 好一
- ◎板東よしお写真展「コウノトリに魅せられて」（4月12日（水）～23日（日）板野町ギャラリー
カフェブリッサ）
- ◎第6回徳島新光会写真展（4月14日（金）～16日（日）徳島市シビックセンター）
出品者：三木理司・三谷美津子・光井雅巳・森 賢一
- ◎第39回サンカ会写真展（4月22日（土）～24日（月）徳島市シビックセンター）
出品者：田中伸廣・橋本圭祐・森内昭男
- ◎第45回写真同人「炎」写真展（5月19日（金）～21日（日）徳島市シビックセンター）
出品者：秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大津勝治・佐治 孝・土橋成行
野口佳一・林 敏彦・廣野美知子・堀口幸男・森 賢一
- ◎徳島城阿波踊り作品コンクール（5月23日（日））
入賞者：秋田召旨・柳本 正・秋山修一・岸田義市・谷 嘉明・廣野美知子・福井純子
- ◎県美術家協会写真部会展（7月7日（金）～9日（日）徳島市阿波銀プラザ）
出品者：秋田召旨・秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井内紀文・井上憲治・井上康子
上野照文・梅本貞則・大島茂信・大津勝治・岡本早苗・賀川泰廣・川真田慶治
岸田義市・木田英之・熊谷美智子・国見良幸・佐藤美智子・高橋一恵・武知 雅
田中伸廣・谷ひづる・新居 夷・西岡まゆみ・野口佳一・野藤敏美・野藤みきよ
橋本圭祐・林 和彦・林 敏彦・板東康雄・板東よしお・姫野博司・平野史子
廣野美知子・福井純子・福田 勉・船越正文・増田 寿・三木理司・水口義行
宮本幸治・森 賢一・森内昭男・森住 博・柳本 正・山上 堯・山下修司
大和健司・吉田隆之・吉村敏嗣
- ◎第28回徳島ライカクラブ写真展（6月17日（金）～19日（日）徳島市シビックセンター）
出品者：山田勝二・井上秀人
- ◎17回写真同人「光」写真展（8月18（金）～8月20日（日）徳島市近代美術館ギャラリー）
出品者：大島茂信・二階博司・林 和彦・林 敏彦・姫野博司・福井純子・福田 勉

水口義行

◎ 71 回二科会写真部展 (9月6日(水)～18日(月) 国立新美術館)

入賞者: 近藤博之・土橋成行

◎ 14 回 Gruppo Foto23 写真展 (9月16日(金)～18日(月) 県立近代美術館ギャラリー)

出品者: 上野照文・熊谷美智子・高橋一恵・田中伸廣・谷ひづる・西岡まゆみ・山上 堯
吉田隆之

◎ 酒田市土門拳文化賞受賞 川真田慶治 (9月16日(土)～10月23日(月) 酒田市記念館)

◎ 第8回写真クラブ八丁目写真展 (10月13日(金)～15日(日) 徳島市シビックセンター)

出品者: 森内昭男・山下修司

◎ 63 回写真楽会写真展 (10月20日(金)～22日(日) 県立近代美術館ギャラリー)

出品者: 上野照文・川真田慶治・岸田義市・櫛渕紳哉・西岡まゆみ・板東泰雄・堀口幸男

◎ キヤノンフォトクラブ徳島第22回写真展 (11月3日(金)～11月7日(火) 徳島市阿波銀プラザ)

出品者: 稲井健司・板東泰雄

◎ 第30回朝日四国写真展 (11月17日(日) 香川県社会福祉総合センターにて審査)

入賞者: 秋山修一・森 賢一・廣野美知子・岡本早苗・野藤敏美・野藤みきよ・阿部啓三
板東泰雄・福井純子・大島茂信・林 敏彦・井藤光章

◎ 第54回ナルトピンボケクラブ写真展 (12月1日(金)～3日(日) キョーエイ鳴門前店)

出品者: 賀川泰廣・木田英之・武知 雅

◎ 第71回ニコールフォトコンテスト展 (12月5日(火)～1月8日(月) ニコンプラザ東京)

入賞者: 岡本早苗



県展写真部展示会場

※会員消息は会員の展覧会情報などを載せていますが、情報などが把握出来ないこともあります。開催案内などを写真部会長まで、お知らせいただければ幸いです。



写真部ギャラリートーク



写真部ギャラリートーク

彫 刻 部

部 会 長 居 上 真 人

年間展望

昨年の5月から、新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」となりました。私たちは、ようやく暗く長いトンネルから抜け出し、社会では様々な交流や行事などが再開されています。文化的な行事も同様で、大変喜ばしいことだと感じています。

◎第29回放美展 会期：2023年5月3日（水）～6日（土） 会場：あわぎんホール

今回は、10点の作品が出品されました。出品数は少なかったですが、大作が多く素材も多様で見応えがありました。特に高校生の作品は、力作が多く質の高さも拮抗していたため、賞選出が難航しました。その中で、放美賞に選ばれた藤川綺月（きるな）さんの「激動」は、龍をモチーフとした大作でした。サイズが大きいのも魅力ですが、細部まで作り込まれており、審査員からも高評価でした。次に、優秀賞の小田太一郎さんの「漂う男」（材質は石膏）は、オーソドックスな頭像ですが、誠実に仕上げられ完成度が高かったです。また、四国大学賞の佐藤怜花（りょうか）さんの「懐」は、シュレッターされた紙が使われ、形の面白さに加えて、素材としてのユニークさに柔軟な感性が見られました。

彫刻は、難解な印象を受けがちですが、近年では「立体造形」として表現の幅が広がっています。今回の出品作品にもそうした傾向が見られ、審査する側にも新しい視点に触れる良い機会となりました。紙や布、廃品など視点を変えれば、面白い立体表現の素材となります。みなさんの新鮮な発想力を駆使し、来年も素敵な作品を発表して欲しいと思います。



第29回 放美展彫刻部会 会場風景

◎第 77 回徳島県美術展 会期：2023 年 10 月 11 日（水）～16 日（月） 会場：あわぎんホール

今回の県美術展立体（彫刻）部門では、彫刻家の小井土 満氏にお願いしました。出品数は 20 点でした。そのうち 14 点が入賞、入選しました。

小井土氏は、「全体的にレベルが高く、選ぶのに苦労した。イメージなどの発想力、表現力、情報の発信力の三つの視点から審査した。」と述べられていました。

特選で徳島市長賞には、高校生の佐藤怜花（りょうか）さんの「倦（けん）」が選ばれました。審査評では、「石のように見えて、実はシュレッターされた紙を無数に貼り付けたユニークな作品。地球温暖化は喫緊の課題であり、作品にもエコの視点を取り入れた。後ろは平たんで、前は複雑さを内包する形も不思議だ。環境問題の難しさと、無関心な一般社会を表しているように思える。」と評価されました。

次に、準特選には、二宮治夫さんの「晴天の霹靂（へきれき）」が選ばれました。審査評では、「長方形の木の土台に、折れた木を配した作品である。発想力やイメージがみなぎり、作家の実力を感じる。やや要素を詰め込み過ぎた印象もあり、今後は「引き算」を心掛けてみてほしい。」と評価されました。

二宮さんは、毎年スケールの大きな作品を制作し、自己の表現を探究しています。もう 1 点の準特選には、横畠寛さんの「水辺の舞」が選ばれました。審査評では、「パインアップルの葉を彷彿とさせる木彫作品。非常に上手く造形力を感じさせる。見た人に心地よさを与える表現力豊かな作品だ。」と評



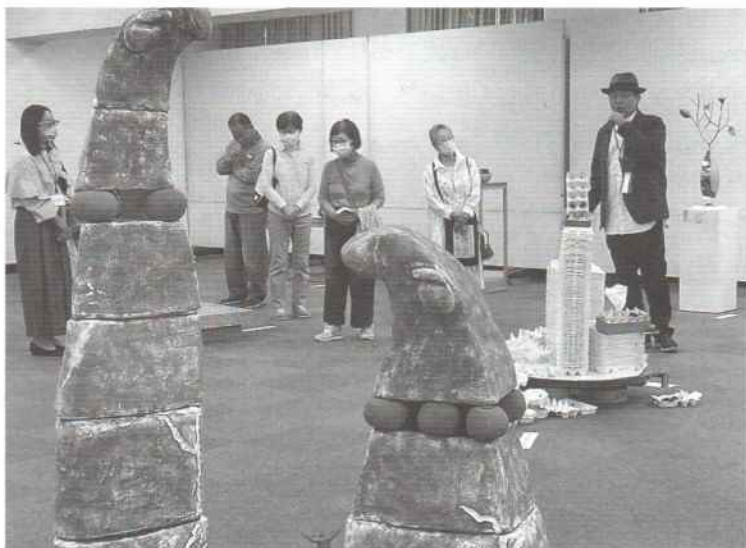
県展立体（彫刻）審査の様子



第 77 回 県展立体（彫刻）会場の様子

価されました。横畠さんも独特な感性で、毎年スケールの大きい木彫作品を出品されています。なお、奨励賞には大貝寿子さんの「未来へ」と、小林正則さんの「クリスマス イブ」が選ばれました。さらに、前回より新設された「ギャラリー賞（来場者による投票）」では、藤川綺月（きるな）さんの「悠然」が選ばれました。

今回の県展では、高校生が特選を受賞するという快挙がありました。一方で、これまで複数回受賞されたベテランの方々が、二席、三席を独占しました。新たな力と熟達した力のぶつかり合いを目の当たりにすることができました。来年もこの会場で「立体（彫刻）」をめぐり、どのようなドラマが起きるのか楽しみです。



ギャラリートークの様子

会員消息（県展・放美展関係は除く。順不同）

居上 真人	3月	徳島彫刻集団 室内展`23	あわぎんホール
	5月	A→G 展	善通寺五岳の里市民集いの丘公園
	6月	2023 宮崎現代彫刻・空港展	宮崎ブーゲンビリア空港
	8月	万成石 50 の表現展	岡山市天神文化プラザ他
	10月	第61回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	12～1月	徳島彫刻集団 室内展`23`24	あわぎんホール
井下 俊作	10月	第61回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
大貝 貞雄	12～1月	陶と造形 大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	日和佐勝瀬モーターズギャラリー
	2月	第51回 徳島市芸術祭美術展 無鑑査出品	シビックセンター
	3月	徳島彫刻集団 室内展 2023	あわぎんホール
	10月	第61回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	12～1月	徳島彫刻集団 室内展`23`24	あわぎんホール

大貝 寿子	12～1月	陶と造形 大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	日和佐勝瀬モーターズギャラリー
	3月	徳島彫刻集団 室内展 2023	あわぎんホール
	10月	第61回 徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	12～1月	徳島彫刻集団 室内展`23`24	あわぎんホール
木村 大志	3月	2023 春季 徳島二紀展	HIRAOKA ギャラリー
	8～9月	第37回 徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
上月 佳代	2月	第51回 徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3月	第10回 二紀会彫刻部会員展	ギャラリー青羅
	3月	2023 春季 徳島二紀展	HIRAOKA ギャラリー
	6月	徳島県美術家協会 彫刻部会展	阿波銀プラザ
	7月	とくしま人物デッサン会 会員展	アートギャラリー GRACE
	8～9月	第37回 徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第76回記念 二紀展	国立新美術館
	11月	12人展	moi moi gallery
	12月	第52回 歳末チャリティー美術展	アミコ東館
武田 亜希子	2月	第51回 徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3月	第10回 二紀会彫刻部会員展	ギャラリー青羅
	3月	2023 春季 徳島二紀展	HIRAOKA ギャラリー
	6月	第9回 ゲタ箱展	大田原市芸術文化研究所
	8月	Tシャツ展3	うしお画廊
	8～9月	第37回 徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第76回 二紀展	国立新美術館
	10～11月	峡谷の郷おったち現代美術展	出雲市旧乙立小学校
	11月	あわの夢咲くアートフェスティバル 2023	蔵のギャラリー
	11月	六人展	Gallery 美庵
	11～12月	2023 石見銀山小品彫刻展	島根県大田市
	12月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう
東 光司	1月	第54回 モダンアート徳島支部展	阿波銀プラザ
	4月	第73回 モダンアート展	東京都美術館
	10月	第61回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園

松永 勉	2月	第51回 徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	3月	徳島彫刻集団 室内展 2023	あわぎんホール
	4～5月	A→G展	善通寺五岳の里市民集いの丘公園
	8月	クラッシィハウス大宮植竹町 玄関ホールに作品設置	
			さいたま市植竹町
	9～10月	第78回 行動展	国立新美術館
	10月	第61回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	第78回 行動展関西巡回展	宝塚市立文化芸術センター
	10月	ドイツ アマダテクニカルセンターに作品設置	
			ドイツランツフート
	10～11月	峡谷の郷おったち現代美術展	出雲市旧乙立小学校
	11月	2023 石見銀山小品彫刻展	島根県大田市
	12月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	
			ギャラリーせいほう
吉田 陽子	12～1月	徳島彫刻集団室内展`23`24	あわぎんホール
	2月	第51回 徳島市芸術祭美術展 無鑑査出品	シビックセンター
	3月	徳島彫刻集団 室内展 2023	あわぎんホール
	10月	第61回 徳島彫刻集団 野外彫刻展	徳島中央公園

美術工芸部

部会長 松下慶一

年間展望

◎第29回放美展 令和5年5月3日(水)～5月6日(土) あわぎんホール

4月30日(日) 非公開で審査が行われた。

出品数は前回より5点少ない76点であった。

ジャンル別では陶磁31点、パッチワーク7点、押し花6点、ガラス6点の順に多かった。

その中から53点を入選とし、放美賞1点、優秀賞3点、四国大学賞1点が選出された。審査員出品3点、無審査出品3点も展示された。

出品数の減少が気になるが、内容的には意欲作が多かった。ますますの奮起を期待しています。

審査員は松下慶一(陶磁)、七條猪三郎(金工)、多智花佐代子(織)がつとめた。

◎第77回県美術展 第2期 令和5年10月18日(水)～23日(月) あわぎんホール

第77回県美術展の美術工芸部門の応募作品点数は109点(前回129点)と、前回より20点少なかった。県美術展も出品数の減少が気になるが、奮起を期待しています。

ジャンル別では、陶磁45点、パッチワーク24点、ガラス8点、染・織6点、押し花5点の順に多かった。

今回の審査員は山岸大成先生(日展特別会員・審査員、日展文部科学大臣賞受賞・内閣総理大臣賞受賞(陶磁))をお願いした。今回は公開審査で行われた。

総評では「全体を通して、暖かく、優しい色合いの作品が多く、徳島県ならではの色彩を感じることができた。」ということであった。

第77回県美術展では、はじめてのギャラリートークが行われた。

10月22日(日) 森賢一(木)、森明治(陶磁)、藤井哲信(ガラス)がつとめ、出品者や見に来られている皆さんにいろいろと物づくりの気持ち、作品づくりなど説明し質問もうけた。多くの人が集まった。



第77回県展 審査



第 77 回県展 展示

◎第 77 回徳島県展選抜展が 11 月 1 日（水）～ 11 月 6 日（月）、吉野川市文化研修センターで開かれました。

会員消息（県展・放美展は除く）

阿部 能則	・第 37 回藍美展	11 月	藍住町総合文化ホール
	・第 51 回全国公募徳島県手工芸展（菊川伸子特別賞）	11 月	あわぎんホール
天野 和子	・第 61 回日本現代工芸美術展（無鑑査）	4 月	東京都美術館
	・第 20 回記念徳島版画展	11 月	徳島県立近代美術館ギャラリー
	・第 51 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第 29 回全国公募徳島県手工芸展 in 鳴門	11 月	キョーエイ鳴門駅前店
	・第 7 回夢のはなパッチワークキルト展	12 月	あわぎんホール
上田 優	・チャレンジとくしま芸術祭 2023（MIP 賞）	1 月	徳島県立近代美術館
	・第 29 回徳島県健康福祉祭「美術展」（県知事賞）	12 月	あわぎんホール
遠藤 勇	・第 37 回藍美展	11 月	藍住町総合文化ホール
	・第 51 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
遠藤 好子	・第 37 回藍美展	11 月	藍住町総合文化ホール
	・第 51 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
大内 敏男	・第 51 回徳島市芸術祭美術展（無鑑査）	2 月	シビックセンター
	・徳島市職員退職者会作品展	10 月	自治会館

大貝 貞雄	・陶と造形、大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	1 - 12月	勝瀬モーターズショールーム・ギャラリー
大貝 寿子	・陶と造形、大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	1 - 12月	勝瀬モーターズショールーム・ギャラリー
楠 博子	・第38回ふう布パッチワークキルト展	11月	シビックセンター
近藤佐起江	・第51回徳島市芸術祭美術展（無鑑査）	2月	シビックセンター
	・第61回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第19回総合美術展	7月	吉野川市文化研修センター
	・第51回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第35回全国手工芸コンクール in ひょうご（NHK 神戸放送局賞）	11月	兵庫県民会館
近藤美佐子	・第61回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第10回日展	11月	国立新美術館
篠原 安雄	・第51回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
柴 純代	・「生きがい作品展」	1月	あわぎんホール
	・第7回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
高瀬 裕司	・第51回徳島市芸術祭美術展（徳島新聞社賞）	2月	シビックセンター
	・第51回全国公募徳島県手工芸展（奨励賞）	11月	あわぎんホール
高橋 正昭	・第51回全国公募徳島県手工芸展（梅岡トヨ特別賞）	11月	あわぎんホール
	・第29回徳島県健康福祉祭「美術展」（県議会議長賞）	12月	あわぎんホール
田村栄一郎	・JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2023	11月	東急プラザ銀座
	・第11回『伝統と先端と』	11月	パリ日本文化会館
	・テーブルウェアフェスティバル 2023	12月	東京ドーム
手塚 健一	・第51回全国公募徳島県手工芸展（招待）	11月	あわぎんホール
鳥井 明子	・第61回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
内藤 久子	・第61回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第10回日展	11月	国立新美術館
	・第7回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
長尾 敏子	・第51回徳島市芸術祭美術展（招待）	2月	シビックセンター
	・ガラス工芸展	7月	ギャラリー Oguri
	・第51回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
仁田 和子	・第19回総合美術展	7月	吉野川市文化研修センター
	・第7回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
福本美智代	・第61回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第10回日展	11月	国立新美術館
	・第51回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第35回全国手工芸コンクール in ひょうご	11月	兵庫県民会館
	・第7回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
藤井 哲信	・第29回テーブルウェア大賞展	1月	東京ドーム
	・第65回伝統工芸四国展（高松三越賞）	3月	高松三越
	・藤井哲信ガラス展	6月	萩の庵

	・第 29 回伝統工芸諸工芸展	6 月	日本橋三越本店
	・藤井哲信ガラス展	7 月	ギャラリーたちばな
藤中 教代	・第 51 回徳島市芸術祭美術展（無鑑査）	2 月	シビックセンター
	・第 51 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
前野 亮治	・第 54 回モダンアート徳島支部展	1 月	阿波銀プラザ
	・第 73 回モダンアート展（会友推挙）	4 月	東京都美術館
松下 慶一	・松下慶一作陶展	6 月	イオンモール徳島
	・第 9 回日本工芸会四国支部陶芸部会展	10 月	かまどホール
松下 敏之	・「青藍窯」松下敏之作陶展	12 月	ギャラリー M&M
松本 宏	・第 4 回大鵬薬品工業社友会趣味の会展	3 月	阿波銀プラザ
	・第 65 回伝統工芸四国展	3 月	高松三越
丸居 哲雄	・令和 5 年度全国現代クラフト展	9 月	あわぎんホール
	・第 29 回徳島障がい者芸術祭エナジー 2023	10 月	徳島県立近代美術館ギャラリー
森 賢一	・第 61 回日本現代工芸美術展（本会員出品）	4 月	東京都美術館
	・第 10 回日展	11 月	国立新美術館
山本 由実	・第 61 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・“宙物語”パッチワーク de 布遊び	5 月	じょじょりん
吉野 由紀	・第 51 回徳島市芸術祭美術展（招待）	2 月	シビックセンター
	・令和 5 年度全国現代クラフト展	9 月	あわぎんホール
四十宮年代	・第 51 回徳島市芸術祭美術展（特別出品）	2 月	シビックセンター
龍木 秀子	・第 51 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール



書 道 部

部 会 長 亀 石 文 苑

年間展望

今年度は、一応コロナが収まりかけているということで、出来るだけ通常の展覧会、審査会を実施した。

◎第 29 回放美展（5 月 3 日（水）～6 日（土） あわぎんホール 3 階）

昨年と同様、作品搬入と審査・展示を 2 日に分けて実施した。審査は、まだコロナの影響で非公開とし、ギャラリートークも中止した。

応募点数 220 点（前回比－13 点）

放美賞 1 点 優秀賞 8 点 四国大学賞 1 点 入選 131 点 審査員作品 3 点
計 147 点を展示した。

*準備に協力していただいた先生方（*以下敬称略・順不同）

4/29（土）作品搬入 隅田、森、山口画、亀石、新聞社関係者 4 名

4/30（日）審査・展示 岩本、隅田、森、山口華、山口画、亀石、業者数名



放美展会場風景

◎第 77 回県美術展（10 月 25 日（水）～30 日（月） あわぎんホール 3 階）

応募点数 594 点（前回比－19 点） 応募人数 359 名（前回比－12 名）

特別出品 2 名 招待 31 名 無鑑査 5 名

四国放送社長賞 1 点 特選 8 名 準特選 14 点 奨励賞 13 点 入選 305 点
計 378 点を展示した。

◎書類搬入（9 月 30 日（土） あわぎんホール 3 階 A 展④⑤）

協 力 者：中尾・内田麻・内田美・山本景・加村・寺尾・阿部博・平田・田上・高柳・

阿部珠・谷本真・板東垂・戸出・折野幸・高瀬・岩本・大西清・長原・山口剛・
浜・荒井・勝浦・谷倉・日下・丸田・亀石 計27名

○作品搬入(10月6日(金) あわぎんホール3階A展①～④ B展⑥～⑧ 大展)

協力者：日下・林桂・武田・草刈・長尾・森本・杉本・藤田美・背川・和田・野田・
福島・佐野恵・吉田翠・野口・松永・稲井・後藤・山本愛・矢野・安丸・林美・
能仁・井上虹・荒井・亀石 計26名

○審査(10月7日(土) あわぎんホール3階A展①～④ B展⑥～⑧ 大展)

審査員には、漢字・篆刻は星弘道先生、仮名は田頭央泐先生、近代詩文は加藤裕先生を
お迎えし、厳正な審査をしていただいた。審査協力者の先生方は、専門外の部門を担当す
るなど、公平・公正性に配慮し、審査後には誤発表とならないように細心の注意と確認をし
ていただいた。また、コロナ禍で非公開となっていた審査が、四年ぶりに公開審査となった。

協力者：川村・林美・谷本真・福家・丸岡・向井・加村・宮守・荒井・岩本・山口剛・
林桂・亀石 計13名 学生アルバイト24名



県展審査風景(漢字・仮名)

○写真撮影(10月8日(日) 8:50 集合 9:00～13:30 あわぎんホール3階 B展⑦～⑧)

協力者：岩本・土井・木田・井上雄・阿部珠・荒井・廣瀬・西直・石川英・向井京・川村・
亀石 計12名

来年から写真を撮った後は、重文庫に作品を運ぶ作業があるので、協力者を増やす必要
があると感じた。

○展示(10月24日(火) あわぎんホール3階A展①～⑤ B展⑥～⑩ 大展)

協力者：市原・恵美・伊達三・村部・千葉・長井・吉田翠・林美・鈴木泰・林幸・玉城乾・
大井・山本勇・多田・平岡・高瀬・湯浅・折野佳・板東杏・谷本真・中川剛・
伊月愛・吉岡三・日下・岩本・山口剛・松本景・鈴木翠・吉田翠・福家・河野多・
荒井・亀石 計33名

作品を重文庫より運び出し、入賞作品・入選作品の配置を決める作業の後は、業者さん
だけでなく、書道部員も一緒に展示作業となった。皆様のご協力のお陰で早く作業が進
んだ。最後に高さ、作品間の広さなどをチェックし、名札をつけて無事終了した。

○搬 出(10月30日(月)あわぎんホール3階A展①～⑤ B展⑥～⑩ 大展)

協 力 者: 荒井・山本・辻・和田・日下・林・糺・山口・賀上・三好・近藤・鈴江・

岡崎・平岡・井上・井上・森本・木村・横田・川村・三浦・亀石 計22名



県展書道部ギャラリートーク

◎第77回県展選抜展（11月1日（水）～6日（月） 吉野川市文化研修センター）

協力者：荒井・岩本・亀石 計3名 吉野川市書道協会部員3名

今年の出展者は、特別出品 2名 招待 2名 無鑑査 1名 四国放送社長賞 1点 特選 2名 準特選 10点 奨励賞 9点 入選 27点 計54点だった。

選抜展に出展したい方は、申し込みの時点で申込書に出展する意志があると、○印をつけておく必要があるの、ご理解・ご協力をお願いしたい。

会員消息（県展・県内社中展を除く）

◎中央展や県外展の役員出品者・入賞者（令和5年1月～令和5年12月）

○第62回璞社書展（奈良県立文化会館 1/12～1/15）

顧	問	清水桂月
参	事	能仁華瑤
参	与	武市鳴雲・馬居李帆
常 任 理 事		八木藍玉・松永翠月・横田典子・林 美雪・河野多美・鈴木恵理 弘田長風・佐野収華・石井祥洸
理 事		田上洋香・岡部比登美・南 溪石・河野美鶴・野口有香・片山芳明 澤本悠洸・谷本真由美
幹 事		上田美智・井上加芳・稲井華風・磯川味佳・伊達静蘭・北村清翠 園尾恵風・籾 爽韻・島 祥瑤・木村秀光
幹 事 推 薦 賞		多田彩峰
入 選		野村佳芳・安丸華風・高橋信華
特 別 賞		岩本義浩

○第54回正筆会菁華書作展（東京銀座画廊 1/20～22）

常任総務理事	亀石文苑
総 務 理 事	加村喜美子・内田麻紀・糺真理子

○第64回太玄会書展（東京都美術館 1/20～26）

総 務	中尾勝子
理事・実行委員	南 溪石・西谷香峰
理 事	鈴木恵理・弘田長風

○第44回日本書道学院展（東京都美術館 1/28～2/3）

常 任 理 事	薄田玲泉・河野真流
理 事	赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・上田輝芳・倉本景雨・佐川菁流 背川景玲・高橋芳琴・廣瀬蕙花・松本景芳・宮守崇流・森 光翔 山本景琴

○第54回現代女流書100人展（日本橋高島屋 2/16～20）

玉城乾香

○第 85 回謙慎書道会展 (池袋サンシャインシティ 3/16 ~ 22)

(東京都美術館 3/17 ~ 23)

常 任 理 事 米澤東籬
理 事 平田紀芳・石川翔芳
春 興 賞 平田紀芳

○第 59 回創玄展 (国立新美術館 3/9 ~ 20)

一 科 審 査 員 荒井彭仙・玉城乾香・浜 佳香
二 科 審 査 員 永松春苑・多田清芳・岩本志豪・岡崎啓香・高瀬大峯
審 査 会 員 吉田和婉・平岡幽琴・岸 緑香・朝三皐如・長原皋月・山口幽徑
大西清葩・佐藤恵和・武田玲香・仁木志香・玉城乾舞・丸田恵風
野田満代
準 大 賞 長原皋月
秀 逸 藤本瑤香・児玉永祥・栗山弘子
準 二 科 賞 山本 勇

○第 57 回雪心会書作展 (奈良県文化会館 3/22 ~ 26)

F ク ラ ス 青木東原
E ク ラ ス 吉村敬子
D ク ラ ス 河見踏春

○第 77 回日本書芸院展 (大阪国際会議場 4/26 ~ 30)

参 与 薄田玲泉・能仁華瑤・伊丹東龍
評 議 員 上田輝芳・亀石文苑・辻 紅雲・福家美鵬・川村春琴・森 光翔
吉田翠彩
一 科 審 査 会 員 清水桂月・河野真流・松永翠月・八木藍玉・赤川景舟・井上虹雨
倉本景雨・加村喜美子・林 美雪・河野多美・石井祥洸・勝浦光漾
背川景玲・松本景芳・山本景琴・佐野収華・高橋芳琴・青木東原
竹田和代・阿部博子・古川秀蕙・田村元帥・恵美春陽・廣瀬蕙花
岡部比登美・糀真理子
二 科 審 査 会 員 戸出芳泉・横田典子・籓 爽韻・折野佳子・寺尾俊通・杉本裕子
吉村敬子・田中子葉・吉岡春鵬・園尾恵風・古谷和代・河野美鶴
井上景玄
史 邑 賞 山本景琴・古川秀蕙
大 賞 田中子葉・杉本裕子・井上景玄・横田典子
準 大 賞 籓 爽韻・園尾恵風・戸出芳泉
特 別 賞 谷内花聲
準 特 別 賞 杉本香苑・河見踏春・岩本義浩・佐竹夏実
特 選 稲井華風
一 科 推 薦 賞 安丸華風・京野白燕
二 科 推 薦 賞 多田彩峰・香川百々花・三宅葉子

○第10回轟友会書展（愛知県立美術館 5/2～7）

常任理事 米澤東籬

○第51回日本の書展（マイドームおおさか 5/3～5）

招待 清水桂月・伊丹東龍・薄田玲泉・上田輝芳・亀石文苑・川村春琴
井上虹雨・辻 紅雲・河野多美・福家美鵬・吉田翠彩・森 光翔
山本景琴・古川秀恵・勝浦光漾・河野真流
秀抜選 武市鳴雲・赤川景舟・井上景玄・背川景玲・松本景芳・高橋芳琴
廣瀬蕙花・岩本志豪・吉田和婉・八木藍玉・田中子葉・戸出芳泉
高瀬大峯・田村元帥・佐野収華・恵美春陽・岩本義浩・内田麻紀
加村喜美子

○協会創立50周年記念 第41回日本詩文書協会書展（セントラルミュージアム銀座 6/7～11）

評議員 荒井彭仙・玉城乾香

○第74回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/23～25）

顧問 薄田玲泉
副理事長 上田輝芳
専務理事 井上虹雨・森 光翔
常任総務 山本景琴
常任理事 倉本景雨・井上景玄・背川景玲・松本景芳・廣瀬蕙花・高橋芳琴

○第60回水穂書展（京都市京セラ美術館 6/23～25）

総務 向井京子

○第46回由源全国書道展（大阪国際会議場 6/24～25）

理事 川村春琴
常任委員 丸岡春暁・中村春岳・山口幸琴・谷 令琴
全日本書道連盟賞 谷 令琴

○第37回玄心書道展（兵庫県原田の森ギャラリー 6/30～7/2）

副会長 伊丹東龍
常任総務 辻 紅雲・福家美鵬・古川秀恵・吉田翠彩・勝浦光漾
総務理事 田村元帥
参与 浅川蘭舟
常務理事 田中子葉
理事 吉岡春鵬

○第45回雪心会選抜展（上野の森美術館 7/27～31）

Fクラス 青木東原

○第61回墨滴会全国書展（マイドームおおさか 8/12～13）

常任理事 戸出芳泉

○第74回毎日展（国立新美術館 7/12～8/6）（愛媛県立美術館 8/23～27）

審査会員 荒井彭仙・玉城乾香
会員 永松春苑・浜 佳香・多田清芳・岩本志豪・吉田和婉・平岡幽琴

長原皋月・高瀬大峯・幸田清尚・玉城乾舞・中川観山・大西清葩

秀 作 賞 岸 緑香

佳 作 賞 坂尾竟成・長尾香蘭

○第 28 回全日本高校・大学生書展（原田の森ギャラリー 8/23～27）

書 道 展 賞 前田翠琉

○第 39 回読売書法展（国立新美術館 8/25～9/3）（サンメッセ香川 10/13～15）

賛 助 会 員 清水桂月

参 与 竹田和代

理 事 能仁華瑠・薄田玲泉・伊丹東龍・上田輝芳・亀石文苑・辻 紅雲
林 美雪・川村春琴・米澤東籬・井上虹雨・河野多美・福家美鵬
吉田翠彩・森 光翔・古川秀蕙・山本景琴・勝浦光漾

幹 事 倉本景雨・井上景玄・背川景玲・松永翠月・佐野収華・青木東原
松本景芳・赤川景舟・加村喜美子・廣瀬蕙花・田中子葉・河野美鶴
岡部比登美・阿部博子・八木藍玉・鈴木恵理・田村元帥・糀真理子
高橋芳琴

評 議 員 内田麻紀・杉本裕子・石井祥洸・筧 爽韻・平田紀芳・石川翔芳
折野佳子

読売新聞社賞 田村元帥・糀真理子

読売俊英賞 加村喜美子

特 選 折野幸峰・前田翠琉

秀 逸 木村秀光・吉岡春鵬・脇坂 優・佐竹夏実・谷内花聲

○第 14 回日本書道学院代表作展（東京芸術劇場 10/17～22）

常 任 理 事 薄田玲泉・河野真流

理 事 赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・倉本景雨・背川景玲・高橋芳琴
廣瀬蕙花・松本景芳・宮守崇流・森 光翔・山本景琴

○第 49 回創玄現代書展（セントラルミュージアム銀座 10/31～11/5）

推 薦 作 家 長原皋月

入 選 岸 緑香・武田玲香

○第 72 回奎星展（東京都美術館 11/1～8）

同 人 中川観山

○第 10 回日展（国立新美術館 11/3～11/26）

入 選 伊丹東龍・辻 紅雲・米澤東籬・森 光翔・亀石文苑・加村喜美子
糀真理子・田村元帥・中尾勝子・廣瀬蕙花・山本景琴・河野多美
勝浦光漾・福家美鵬・吉田翠彩

○第 64 回墨華書道展（高松市美術館 11/24～26）

理 事 中川観山

同 人 佐藤由紀代

○第 32 回謙慎書道会展西部展（四国大学交流プラザ 12/8～10）

常任理事 米澤東籬

○第75回正筆展（兵庫県原田の森ギャラリー 12/9～10）

参事 竹田和代

常務理事 亀石文苑

総務理事 加村喜美子・阿部博子・内田麻紀・糺真理子

常任理事 脇坂 優・和泉和舟・井上小百合・折野佳子・杉本裕子・寺尾俊通
中筋良江・田岡佐記子・関根史子・三宅葉子・古谷和代

理事 今津紫秋・中川年代・濱口 恵・平尾卓美

梅花賞 坪井佳代・板東杏樹・森 眞美

○第63回璞社書展（兵庫県民会館 12/22～24）

顧問 清水桂月

参事 能仁華瑤

参与 武市鳴雲・馬居李帆

常任理事 八木藍玉・松永翠月・横田典子・林 美雪・河野多美・鈴木恵理

弘田長風・佐野収華・石井祥洸

理事 田上洋香・岡部比登美・恵美春陽・高柳早秀・南 溪石・河野美鶴
澤本悠洸・片山芳明・谷本真由美・野口有香

幹事 上田美智・井上加芳・稲井華風・磯川味佳・伊達静蘭・北村清翠
園尾恵風・籧 爽韻・木村秀光・寺澤華玉・多田彩峰

理事推薦賞 籧 爽韻

入選 高橋信華・野村佳芳・安丸華風

特別賞 瀬山花郷

優秀賞 岩本義浩

特選 塩田龍澄

◎県内社中展や個展等

○第7回由源書心会展	県立文学書道館	1月 7日～	9日
○第50回記念 光輪社書作展	県立文学書道館	1月20日～	22日
○従姉妹展 美泉春琴書作展	阿波銀プラザ	1月21日～	23日
○第14回徳洋社書作展	県立文学書道館	2月 3日～	5日
○第46回東玄書道会展	阿波銀プラザ	2月 4日～	6日
○第55回清潮書作展	あわぎんホール	3月10日～	12日
○第43回書研社展	徳島市シビックセンター	3月24日～	26日
○第11回桂和会書展	美馬市吉田家住宅	3月24日～	26日
○第4回徳島玄心会書展	県立文学書道館	3月31日～	4月 2日
○第37回正鋒会書展	石井中央公民館	5月 4日～	7日
○第16回幽の会書展	徳島市シビックセンター	5月12日～	14日
○第29回耿の会書作展	県立文学書道館	5月26日～	28日
○第34回長玄書道会展	阿波銀プラザ	7月21日～	23日
○第29回三美書研展	美馬市地域交流センターミライズ	8月25日～	27日
○第88回書芸院展	阿波銀プラザ	9月 7日～	10日
○第68回書協人展	あわぎんホール	9月28日～	30日
○第9回虹光会書展	阿波銀プラザ	11月10日～	12日
○第27回尚真書展	あわぎんホール	11月14日～	16日
○第26回せゝらぎ書展	県立文学書道館	11月17日～	19日
○第8回由源書心会展	県立文学書道館	11月17日～	19日
○第53回直心会書展	あわぎんホール	11月24日～	26日
○悠玄書道会展	立江寺	12月 2日～	3日
○令和5年度高校教員書道展	県立文学書道館	12月 2日～	3日
○第43回臨池書展	徳島市シビックセンター	12月 2日～	3日
○第32回謙慎書道会西部展	四国大学交流プラザ	12月8日～	10日

※会派からの報告を受けて掲載しております。

掲載を希望される場合は、会派で取りまとめ 12 月 20 日までに部会長までお送りください。無所属の方は個人でお送りください。ただし掲載は美術家協会会員に限ります。

デザイン部

部会長 坂野 美恵子

年間展望

令和5年5月の放美展はコロナ禍の影響を受けた開催となりましたが10月の徳島県美術展ではほぼ終息し通常通りの開催となりました。今回、デザインは画像生成AI使用は不可とし高校生をはじめ一般の方々の様々な作品を募集しました。

昨年に比べると、出品数も増え、県展の公開審査では多くの出品者が審査過程を熱心に見守っている様子が印象的でした。

◎第29回放美展 会期：5月3日～6日 場所：あわぎんホール

出品数は89点、入選入賞は56点で、入選率は62.9%でした。出品数は昨年より3点多く出品者数は8名増えました。出品者のほとんどが高校生で若い感性を感じられました。審査員は田中一郎、斎藤繁次、敷島のり子の3名で、審査が行われました。

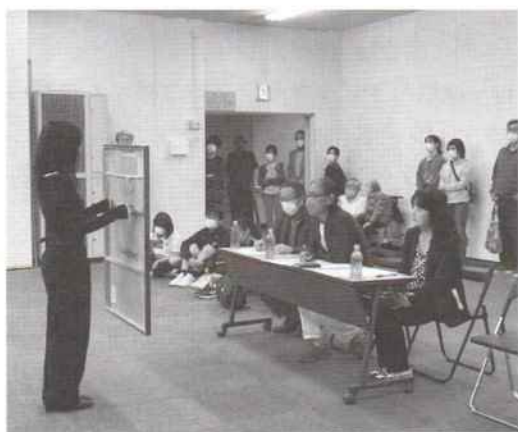
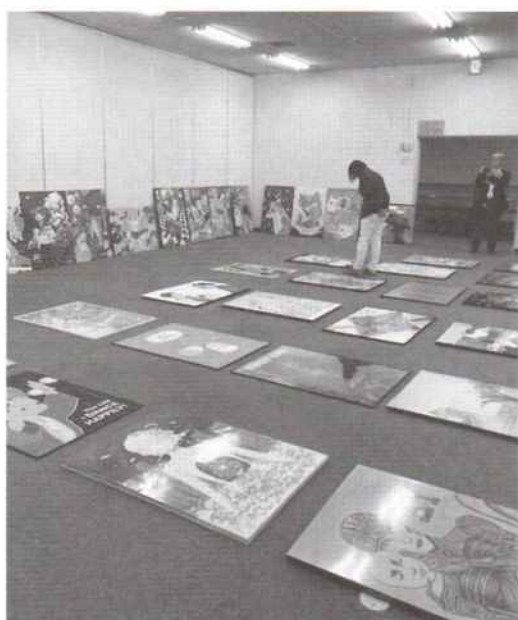
◎第77回徳島県美術展 会期：10月18日～23日 場所：あわぎんホール

出品数は63点、入選入賞は44点で、入選率は69.8%でした。出品数は昨年より16点多く、出品者数は14名増えました。

審査員は東京工芸大学 教授・グラフィックデザイナーの福島 治先生をお迎えし公開審査が行われました。



デザイン部 県展展示会場



デザイン部 県展審査風景

会員消息

■斎藤 繁次

11月 藍美展 2023年11/10(金)～11/12(日) 藍住町文化ホール

■斎藤志津子

11月 藍美展 2023年11/10(金)～11/12(日) 藍住町文化ホール

■坂野美恵子

8月 坂野美恵子 グラフィック アート展 (個展)
2023年 8/22(火)～8/27(日) 徳島県立近代美術館ギャラリー
作品(B1) 約65点を展示する

9月 坂野美恵子 グラフィック アート展 (個展)
2023年 9/1(金)～9/3(日) 吉野川市文化研修センター
作品(B1) 約60点を展示する

9月 第107回二科展デザイン部門 会員 作品出品
2023年9/6(水)～9/18(月) 東京 国立新美術館

■沢口 功

2月 第51回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員 作品出品
2023年2月23日(木)～26日(日) 徳島市シビックセンター3階ギャラリー

9月 第13回 沢口功 ポスターデザイン展 2023 (個展)
2023年9月11日(月)～24(日)
TOKUSHIMA COFFEE WORKS KONOBU ギャラリー

12月 第52回歳末チャリティー美術展 作品出品
2023年12月14日(木)～17日(日) アミコ東館6階催事場
(公益財団法人 徳島新聞社会文化事業団)

■敷島 のり子

2月 第51回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員 作品出品
2023年2月23日(木)～26日(日) 徳島市シビックセンター3階ギャラリー

7月 第81回 世代美術展 会場：シビックセンター3階ギャラリー
2023年7月13(木)～16日(日) シビックセンター徳島駅前アミコビル3階

12月 第52回歳末チャリティー美術展
2023年12/14(木)～12/17(日) アミコ東館6階催事場
(公益財団法人 徳島新聞社会文化事業団)

■ 田中 一郎

- 3月 第31回城東高校定期演奏会
(ポスター・チラシ・チケット・プログラム・看板)のデザイン制作
- 4月 春風コンサート 2023 (チラシ、チケット、プログラム)のデザイン制作
- 10月 ヴォーカルグループ Sole 第40回記念プレコンサート
(チラシ・チケット・プログラム)のデザイン制作

■ 西林 良枝

- 2月 第51回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 特別出品
2023年2月23日(木)～26日(日) 徳島市シビックセンター3階ギャラリー

■ 山野井 宏宗

- 2月 第51回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 特別出品
2023年2月23日(木)～26日(日) 徳島市シビックセンター3階ギャラリー
- 9月 第107回二科展デザイン部門 会友出品
2023年9月6日(水)～9月18日(月) 東京 国立新美術館

■ 吉本 實

- 2月 第51回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員 作品出品
2023年2月23日(木)～26日(日) 徳島市シビックセンター3階ギャラリー

■ 四十宮隆志

- 2月 JAGDA 徳島地区デザイン展 2024 企画始動 以後、オンライン & リアル会議開催
- 6月 JAGDA 全国総会 & 日本デザイン団体協議会合同イベント出席 (6月16日)
東京ミッドタウンカンファレンス
- 7月 徳島県文化創造審議会出席 (7月10日、9月15日、11月17日)
徳島県庁 10F 会議室

徳島県美術家協会規約

昭和 23. 9. 12	規約制定	昭和 61. 6. 21	規約一部改正
32. 7. 14	新規規約制定	平成 4. 6. 27	"
33. 4. 29	規約一部改正	6. 6. 25	"
42. 4. 23	"	10. 6. 27	"
46. 4. 29	"	23. 6. 4	"
47. 5. 29	"	24. 6. 9	"
49. 8. 22	"	25. 6. 1	"
52. 7. 23	"	26. 6. 1	"
56. 5. 5	"	28. 6. 4	"
58. 6. 5	"	30. 5. 26	"

第1章 総 則

- 第1条 本会は徳島県美術家協会と称する。
- 第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。
- 第3条 本会は徳島県に關係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。
- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン
- 第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。
- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
- 会 長 副会長(2名) 事務局長
理 事(若干名) 監 事(2名)
- 会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。ただし、会長、副会長、理事においての選出は、80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 会長・副会長の総会での選出方法は、各部で代議員の中から2名の選考委員を選び、予め候補を選考した後、総会で選出する。
- 第6条 本会は顧問および特別会員を次の規定によりおくことができる。
- ①会長または副会長を10年以上務めた後、理事会で認められた者を顧問とする。
- ②理事または部会長を10年以上務めた者、若しくは各部会からの推せんにより理事会で認められた者を特別会員とする。
- 第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長にやむを得ない事情があるときは、その職務を代行する。事務局長は本会の事務業務を統括する。監事は本会の経理を監査する。
- 第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。
- 総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。ただし、最終端数の人員が算出された場合は、繰り上げるものとし1名を追加する。
- 第9条 理事会及び部会長会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を

執行する。事務局長は必要に応じ事務局員を招集し、事務分担を行う。

第3章 部 会

- 第10条 各部に次の役員をおく。
- 部会長・委員(部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない)
- 部監事(2名)
- 事務局員(2名)
- 役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。ただし、部会長においての選出は80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。
- ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。
- 第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。
- 第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。
- 第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

- 第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。
- 第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。
- 第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

内 規

- 1 (監事)
- 監事は、基本的に規約第3条の順に従って、2部会が役員の任期期間をつとめる。
- 2 (総会の議長)
- 総会の議長は、規約第3条の順に毎回持ち回りでつとめる。

(参 考)

- ☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。
- ☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。
- ☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定(图案は鬼塚副会長)
- ☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。
- ☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。
- ☆平成23年6月1日 事務所を事務局長の住所に置く。

後援承認事務取扱規定

(趣 旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をすることを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後において、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所 _____

団 体 名 _____

代表者名 _____ 印

電話番号 _____

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続 （該当に○印をつけてください）

行 事 名

開催日時（期間）

年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ）

開 催 場 所 名

開催場所所在地

共 催 団 体 名

他の後援団体名

入 場 料

有（詳細を記入： _____） ・ 無

後援承認通知書

送付先住所氏名

〒 _____ 氏名

行 事 概 要

（行事計画及び行事内容などを記載してください）

注 1） 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第 1 号

※コピーしてご利用ください

あ と が き

約3年間にわたって世界中に猛威を振るった新型コロナウイルスも、10月頃にはやっと沈静化の兆しが見え始めました。したがって5月開催の放美展の公開審査は非公開で行われました。10月開催の県展においては、正常なかたちで開催することができ公開審査となりギャラリートークも執り行われました。

県展では昨年度からギャラリー賞を設けたことで投票用紙を片手に熱心に作品を鑑賞されている来場者の姿が連日見受けられ、以前の活気が戻ってきたと感じました。「クリエイター部門」は3年目を迎え多様な作品が発表されました。また、美術家協会の後援数も今年度は61行事と昨年度を上回る行事が開催されました。

今年度の本誌の装丁は、彫刻部所属であり、本協会の松永勉会長の作品です。作品についてのコメントを下記にいただきました。

「私は創作活動をする上で、そのイメージ作りの原点に自然や生あるものに興味を持つ、その形や動きに惹かれる。スペインの天才ガウディーが建築の要素を植物から見つけたことは、それが自然の中で一番理にかなった美しい形をしていたからだろう。自然はいつも私に創作のヒントを与えてくれる。」

さて、令和5年5月の総会より書道部の隅田先生からデザイン部の敷島に事務局を引き継ぎました。隅田先生、会長・副会長・各部会長にご教示を賜りなんとかここまで乗り越えて参りました。任期まで残り1年強あります。何かと行き届かぬ点もあるかと思いますが、皆様のご協力、ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様の創作活動と徳島県美術界が活気に満ち発展されますことを祈念いたします。

令和6年3月

徳島県美術家協会

事務局長 敷島のり子

美術年報 2024

令和6年3月30日印刷

令和6年3月31日発行

編集者 敷島 のり子

装幀者 松 永 勉

発行人 松 永 勉

印刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会

徳島市応神町西貞方字小島66 敷島方
